

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン オオサカダイガク 国立大学法人 大阪大学								
フリガナ大学の名称	オオサカダイガク 大阪大学								
大学本部の位置	大阪府吹田市山田丘1番1号								
大学の目的	<p>大阪大学は、かねて大阪の地に根づいていた懐徳堂、適塾の市民精神を受け継ぎつつ、財界や市民の熱意ある活動の末、昭和6年に創設された。こうした創設の経緯から、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、社会に進んで門戸を開き、その多様性の中で、人類の理想を実現せんと努力する有為な人材を輩出するとともに、しなやかに実直に普遍の真理を見極め、世界最先端の学術研究の成果を社会に還元し続けてきた。また、本学の歴史の中で平成16年の国立大学法人化は大きな転換点であり、この国立大学法人としての新たな出発を見据え、本学は、平成15年に将来の豊かな発展を期して「大阪大学憲章」を制定した。この「大阪大学憲章」実装を目指す中で、本学の将来構想の卓越性、将来性は高く評価され、平成30年10月には指定国立大学法人に指定されるに至っている。</p> <p>大阪大学は、社会との対話により独自に制定した中長期的な経営ビジョンである「OUマスタープラン」に掲げる「生きがいを育む社会」の創造に向けて、世界の社会的課題を解決し社会変革を先導する、新たな大学像を探求している。深刻な社会課題の解決に果敢に取り組み、新たな知と人材と最新のテクノロジーを導入し、様々な社会システム変革を通して「いのち」と「くらし」を守り、強靱で持続可能な未来社会を創造していくという使命の下、新価値創造と卓越した人材の育成・輩出に邁進し、社会変革に積極的に挑戦するために、研究、教育、共創の取組みをさらに推進する。</p>								
新設学部等の目的	<p>我が国では、医学部出身の基礎医学研究者が減少傾向にあり、これを放置することによる将来の国際競争力の低下や医学教育レベルの低下が危惧されている。大阪大学では、他大学に先駆けて、学生を一定期間基礎医学系教室や社会医学系教室で研究に専念させる教育プログラム「基礎医学講座配属」を導入するなど、基礎医学研究者の養成に力を注いできた。</p> <p>また、医学科のほかにも、生命機能研究科、微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センターなど、附属の研究施設が充実し、学生への指導体制が整っている。そこで、我が国のかかえる上記課題に対応するため、研究医枠3名の定員を増加させ、早期から基礎医学研究を体験させ、学部・大学院を連携させた特別教育プログラム（MD研究者育成プログラム）の参加者を確保し、医師養成だけでなく、世界をリードする研究能力と国際的視野を兼ね備えた医学研究者養成を目指す。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部 (School of Letters)	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	大阪府豊中市 待兼山町1番5号
	人文学科 (Department of Humanities)	4	165	-	660	学士 (文学)	文学関係	平成20年度	
	人間科学部 (School of Human Sciences)								大阪府吹田市 山田丘1番2号
	人間科学科 (Department of Human Sciences)	4	137	3年次 10	568	学士 (人間科学)	文学関係	平成20年度	
	外国語学部 (School of Foreign Studies)								大阪府箕面市 船場東3丁目5番10号
	外国語学科 (Department of Foreign Studies)	4	580	3年次 10	2,340	学士 (言語・文化)	文学関係	平成20年度	
法学部 (School of Law)								大阪府豊中市 待兼山町1番6号	
法学科 (Department of Law)	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	法学関係	平成20年度		
国際公共政策学科 (Department of International Public Policy)	4	80	-	320	学士 (法学)	法学関係	平成20年度		

経済学部 (School of Economics)								大阪府豊中市 待兼山町1番7号	
経済・経営学科 (Department of Economics and Business)	4	220	3年次 10	900	学士 (経済学)	経済学関係	平成20年度		
理学部 (School of Science)								大阪府豊中市 待兼山町1番1号	
数学科 (Department of Mathematics)	4	47	-	188	学士 (理学)	理学関係	平成20年度		
物理学科 (Department of Physics)	4	76	-	304	学士 (理学)	理学関係	平成20年度		
化学科 (Department of Chemistry)	4	77	-	308	学士 (理学)	理学関係	平成20年度		
生物科学科 (Department of Biological Sciences)	4	55	-	220	学士 (理学)	理学関係	平成20年度		
医学部 (Faculty of Medicine)									
医学科 (Medical School)	6	98 (95)	2年次 10	623 (620)	学士 (医学)	医学関係	令和8年4月 第1年次	大阪府吹田市 山田丘2番2号	医学部医学科の今回の3名の入学定員の増員は、令和8年度のみの臨時定員増である。また、医学部医学科の令和7年度における収容定員は642人である。
保健学科 (School of Allied Health Sciences)							平成20年度	大阪府吹田市 山田丘1番7号	
看護学専攻 (Course of Nursing)	4	80		320	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)			
放射線技術科学専攻 (Course of Medical Physics and Engineering)	4	40		160	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)			
検査技術科学専攻 (Course of Laboratory Sciences)	4	40		160	学士 (保健衛生学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)			
歯学部 (School of Dentistry)								大阪府吹田市 山田丘1番8号	
歯学科 (Department of Dentistry)	6	53	-	318	学士 (歯学)	歯学関係	平成20年度		
薬学部 (School of Pharmaceutical Sciences)								大阪府吹田市 山田丘1番6号	
薬学科 (Department of Pharmacy)	6	80	-	480	学士 (薬学)	薬学関係	平成20年度		

年度	定員	収容
令和7年度	642	642
令和8年度	640	640
令和9年度	633	633
令和10年度	630	630
令和11年度	625	625
令和12年度	623	623
令和13年度	623	623



るもの(a又はbに該当する者を除く)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0	0	0	0	0			
計(a～d)	36 (36)	26 (26)	9 (9)	0 (0)	71 (71)			
<b>外国語学部 外国語学科</b>	41人 (41)	31人 (31)	13人 (13)	10人 (10)	95人 (95)	0人 (0)	284人 (284)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数18人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	41 (41)	31 (31)	13 (13)	10 (10)	95 (95)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計(a～b)	41 (41)	31 (31)	13 (13)	10 (10)	95 (95)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a～d)	41 (41)	31 (31)	13 (13)	10 (10)	95 (95)			
<b>法学部 法学科</b>	33人 (33)	14人 (14)	0人 (0)	0人 (0)	47人 (47)	1人 (1)	10人 (10)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	33 (33)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	47 (47)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計(a～b)	33 (33)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	47 (47)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a～d)	33 (33)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	47 (47)			
<b>国際公共政策学科</b>	14人 (14)	7人 (7)	1人 (1)	0人 (0)	22人 (22)	1人 (1)	16人 (16)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	22 (22)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計(a～b)	14 (14)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	22 (22)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a～d)	14 (14)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	22 (22)			
<b>経済学部 経済・経営学科</b>	22人 (22)	13人 (13)	3人 (3)	0人 (0)	38人 (38)	2人 (2)	66人 (66)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数12人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	22 (22)	13 (13)	3 (3)	0 (0)	38 (38)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計(a～b)	22 (22)	13 (13)	3 (3)	0 (0)	38 (38)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a～d)	22 (22)	13 (13)	3 (3)	0 (0)	38 (38)			
<b>理学部 数学科</b>	21人 (21)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	22人 (22)	0人 (0)	35人 (35)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	21 (21)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			

b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	/	/	/	四分の三の数6人		
小計（a～b）	21 (21)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	22 (22)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	21 (21)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	22 (22)						
<b>物理学科</b>	26人 (26)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	26人 (26)	1人 (1)	60人 (60)	/	/	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	26 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (26)						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	26 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (26)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	26 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (26)						
<b>化学科</b>	25人 (25)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	25人 (25)	0人 (0)	59人 (59)	/	/	/	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	25 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (25)						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	25 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (25)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	25 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (25)						
<b>生物科学科</b>	12人 (12)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (12)	0人 (0)	92人 (92)	/	/	/	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)						
<b>医学部 医学科</b>	52人 (52)	26人 (26)	40人 (40)	96人 (96)	214人 (214)	1人 (1)	204人 (204)	/	/	/	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数105人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	52 (52)	26 (26)	40 (40)	96 (96)	214 (214)						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	52 (52)	26 (26)	40 (40)	96 (96)	214 (214)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						

計 (a~d)	52 (52)	26 (26)	40 (40)	96 (96)	214 (214)			
保健学科 看護学専攻	15人 (15)	6人 (6)	1人 (1)	12人 (12)	34人 (34)	0人 (0)	5人 (5)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数の 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	15 (15)	6 (6)	1 (1)	12 (12)	34 (34)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計 (a~b)	15 (15)	6 (6)	1 (1)	12 (12)	34 (34)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計 (a~d)	15 (15)	6 (6)	1 (1)	12 (12)	34 (34)			
保健学科 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	16人 (16)	8人 (8)	1人 (1)	7人 (7)	32人 (32)	0人 (0)	19人 (19)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数の 11人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	16 (16)	8 (8)	1 (1)	7 (7)	32 (32)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計 (a~b)	16 (16)	8 (8)	1 (1)	7 (7)	32 (32)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計 (a~d)	16 (16)	8 (8)	1 (1)	7 (7)	32 (32)			
歯学部 歯学科	18人 (18)	16人 (16)	23人 (23)	35人 (35)	92人 (92)	0人 (0)	154人 (154)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数の 57人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	18 (18)	16 (16)	23 (23)	35 (35)	92 (92)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計 (a~b)	18 (18)	16 (16)	23 (23)	35 (35)	92 (92)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計 (a~d)	18 (18)	16 (16)	23 (23)	35 (35)	92 (92)			
薬学部 薬学科	14人 (14)	12人 (12)	8人 (8)	2人 (2)	36人 (36)	0人 (0)	69人 (69)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数の 21人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	12 (12)	8 (8)	2 (2)	36 (36)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計 (a~b)	14 (14)	12 (12)	8 (8)	2 (2)	36 (36)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計 (a~d)	14 (14)	12 (12)	8 (8)	2 (2)	36 (36)			
工学部 応用自然科学科	47人 (47)	14人 (14)	2人 (2)	5人 (5)	68人 (68)	0人 (0)	87人 (87)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数の 10人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	47 (47)	14 (14)	2 (2)	5 (5)	68 (68)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計 (a~b)	47 (47)	14 (14)	2 (2)	5 (5)	68 (68)			

c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	47 (47)	14 (14)	2 (2)	5 (5)	68 (68)			
<b>応用理工学科</b>	40人 (40)	31人 (31)	5人 (5)	3人 (3)	79人 (79)	0人 (0)	60人 (60)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数11人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	40 (40)	31 (31)	5 (5)	3 (3)	79 (79)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	40 (40)	31 (31)	5 (5)	3 (3)	79 (79)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	40 (40)	31 (31)	5 (5)	3 (3)	79 (79)			
<b>電子情報工学科</b>	27人 (27)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	27人 (27)	0人 (0)	81人 (81)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	27 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (27)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	27 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (27)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	27 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (27)			
<b>環境・エネルギー工学科</b>	14人 (14)	11人 (11)	0人 (0)	6人 (6)	31人 (31)	0人 (0)	31人 (31)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	31 (31)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	14 (14)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	31 (31)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	14 (14)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	31 (31)			
<b>地球総合工学科</b>	20人 (20)	16人 (16)	0人 (0)	10人 (10)	46人 (46)	0人 (0)	42人 (42)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	20 (20)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	46 (46)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	20 (20)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	46 (46)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	20 (20)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	46 (46)			
<b>基礎工学部 電子物理科学科</b>	17人 (17)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	17人 (17)	0人 (0)	53人 (53)	大学設置基準別
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事	17	0	0	0	17			

する者であって、主要授業科目を担当するもの	(17)	(0)	(0)	(0)	(17)			表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数7人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
<b>化学応用科学科</b>	14人 (14)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	14人 (14)	1人 (1)	49人 (49)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数7人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
<b>システム科学科</b>	24人 (24)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	24人 (24)	0人 (0)	57人 (57)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)			
<b>情報科学科</b>	17人 (17)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	17人 (17)	0人 (0)	74人 (74)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数7人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
<b>計</b>	617人 (617)	257人 (257)	110人 (110)	186人 (186)	1170人 (1170)	7人 (7)	— (—)	

既設分	該当なし					-	-	-	-
	a. 基礎教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	-	-	-	-	-	-	-	
	b. 基礎教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	-	-	-	-	-	-	-	
	小計（a～b）	-	-	-	-	-	-	-	
	c. 基礎教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	-	-	-	-	-	-	-	
	d. 基礎教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	-	-	-	-	-	-	-	
	計（a～d）	-	-	-	-	-	-	-	
計					-	-	-	-	
合計					617人 (617)	257人 (257)	110人 (110)	186人 (186)	1170人 (1170)
職 種					専 属		そ の 他		計
事 務 職 員					991人 (991人)		2,090人 (2,090人)		3,081人 (3,081人)
技 術 職 員					187人 (187人)		673人 (673人)		860人 (860人)
図 書 館 職 員					44人 (44人)		65人 (65人)		109人 (109人)
そ の 他 の 職 員					1,536人 (1,536人)		409人 (409人)		1,945人 (1,945人)
指 導 補 助 者					0人 (0人)		3,156人 (3,156人)		3,156人 (3,156人)
計					2,758人 (2,758人)		6,393人 (6,393人)		9,151人 (9,151人)
校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地		958,961㎡	0㎡	0㎡		958,961㎡		
	そ の 他		480,768㎡	0㎡	0㎡		480,768㎡		
	合 計		1,439,729㎡	0㎡	0㎡		1,439,729㎡		
校 舎			専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		
			689,200㎡ (689,200㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)		689,200㎡ (689,200㎡)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室	711室	教 員 研 究 室		310室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定が不能なため、大学全体の数を記載（機械・器具、標本については医学部医学科の教）	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	大学全体	3,720,367 [1,807,906] (3,720,367 [1,807,906])	41,750 [34,700] (41,750 [34,700])	108,671 [70,857] (108,671 [70,857])	36,207 [34,600] (36,207 [34,600])	6,251 (6,251)	5,440 (5,440)		
	計	3,720,367 [1,807,906] (3,720,367 [1,807,906])	41,750 [34,700] (41,750 [34,700])	108,671 [70,857] (108,671 [70,857])	36,207 [34,600] (36,207 [34,600])	6,251 (6,251)	5,440 (5,440)		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		22,934㎡		1,667㎡		16,937㎡			

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	-	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	-	-	-	-	-	
	図書購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	設備購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
学生納付金以外の維持方法の概要	該当なし								
概設大学の状況	大学等の名称	国立大学法人 大阪大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	文学部	4	165	-	660		1.14 《1.06》	平成20	大阪府豊中市 待兼山町1番5号
	人文学科	4	165	-	660	学士（文学）	1.14 《1.06》		
	人間科学部	4	137	3年次 10	568		1.09 《1.06》	平成20	大阪府吹田市 山田丘1番2号
	人間科学科	4	137	3年次 10	568	学士（人間科学）	1.09 《1.06》		
	外国語学部	4	580	3年次 10	2,340		1.20 《1.02》	平成20	大阪府箕面市船場東 3丁目5番10号
	外国語学科	4	580	3年次 10	2,340	学士（言語・文化）	1.20 《1.02》		
	法学部	4	250	3年次 10	1,020		1.08 《1.02》	平成20	大阪府豊中市 待兼山町1番6号
	法学科	4	170	3年次 10	700	学士（法学）	1.06 《1.00》		
	国際公共政策学科	4	80	-	320	学士（法学）	1.13 《1.05》		
	経済学部	4	220	3年次 10	900		1.09 《1.03》	平成20	大阪府豊中市 待兼山町1番7号
	経済・経営学科	4	220	3年次 10	900	学士（経済学）	1.09 《1.03》		
	理学部	4	255	-	1,020		1.11 《1.06》	平成20	大阪府豊中市 待兼山町1番1号
	数学科	4	47	-	188	学士（理学）	1.18 《1.08》		
	物理学科	4	76	-	304	学士（理学）	1.10 《1.06》		
	化学科	4	77	-	308	学士（理学）	1.09 《1.06》		
	生物科学科	4	55	-	220	学士（理学）	1.09 《1.05》		
	医学部	6・4	258	2年次 10	1,282		-	平成20	大阪府吹田市 山田丘2番2号
	医学科	6	98	2年次 10	642	学士（医学）	1.01 《0.99》		
	保健学科	4	160	-	640		1.03 《1.02》	平成20	大阪府吹田市 山田丘1番7号
	看護学専攻	4	80	-	320	学士（看護学）	1.02 《1.00》		
	放射線技術科学 専攻	4	40	-	160	学士（保健衛生学）	1.00 《1.00》		
	検査技術科学 専攻	4	40	-	160	学士（保健衛生学）	1.08 《1.08》		
	歯学部	6	53	-	318		1.05 《1.00》	平成20	大阪府吹田市 山田丘1番8号
	歯学科	6	53	-	318	学士（歯学）	1.05 《1.00》		
	薬学部	6	80	-	480		1.05 《1.00》	平成20	大阪府吹田市 山田丘1番6号
	薬学科	6	80	-	480	学士（薬学）	1.05 《1.00》		
	工学部	4	853	3年次 12	3,337		1.07 《1.03》	平成20	大阪府吹田市 山田丘2番1号
応用自然科学科	4	222	3年次 3	879	学士（工学）	1.06 《1.02》			
応用理工学科	4	248	3年次 3	998	学士（工学）	1.08 《1.02》			
電子情報工学科	4	190	3年次 6	688	学士（工学）	1.09 《1.04》			
環境・エネルギー 工学科	4	75	-	300	学士（工学）	1.08 《1.04》			
地球総合工学科	4	118	-	472	学士（工学）	1.07 《1.03》			

令和7年度入学定員変更(95-98※単年度の暫定増員)  
令和5、6年度入学定員変更(95-97※単年度の暫定増員)  
令和2～4年度入学定員変更

基礎工学部	4	462	3年次 8	1,783		1.08 《1.02》		大阪府豊中市 待兼山町1番3号	
電子物理科学科	4	103	-	400	学士(工学)	1.12 《1.04》	平成20		
化学応用科学科	4	84	-	336	学士(工学)	1.07 《1.00》	平成20		
システム科学科	4	174	3年次 8	697	学士(工学)	1.06 《1.01》	平成20		
情報科学科	4	101	-	350	学士(工学)	1.10 《1.04》	平成20		
人文学研究科			-						
人文学専攻								大阪府豊中市 待兼山町1番5号	
博士前期課程	2	47	-	94	修士(文学)	0.75	令和4		
博士後期課程	3	14	-	42	博士(文学)	1.19	令和4		
言語文化学専攻								大阪府豊中市 待兼山町1番8号	
博士前期課程	2	32	-	64	修士(言語文化学)	1.21	令和4		
博士後期課程	3	15	-	45	博士(言語文化学)	1.40	令和4		
外国学専攻								大阪府箕面市船場東 3丁目5番10号	
博士前期課程	2	25	-	50	修士(言語文化学)	1.38	令和4		
博士後期課程	3	11	-	33	博士(言語文化学)	0.66	令和4		
日本学専攻								大阪府豊中市 待兼山町1番5号 大阪府箕面市船場東 3丁目5番10号	
博士前期課程	2	40	-	80	修士(文学) 修士(日本語・ 日本文化)	1.12	令和4		
博士後期課程	3	18	-	54	博士(文学) 博士(日本語・ 日本文化)	1.29	令和4		
芸術学専攻								大阪府豊中市 待兼山町1番5号	
博士前期課程	2	17	-	34	修士(文学)	1.35	令和4		
博士後期課程	3	7	-	21	博士(文学)	2.28	令和4		
文学研究科								大阪府豊中市 待兼山町1番5号	
文化形態論専攻									令和4年度より 学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士(文学)	-	平成20		
文化表現論専攻									令和4年度より 学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士(文学)	-	平成20		
文化動態論専攻									令和4年度より 学生募集停止
修士課程	2	-	-	-	修士(文学)	-	平成20		
人間科学研究科								大阪府吹田市 山田丘1番2号	
人間科学専攻									
博士前期課程	2	89	-	178	修士(人間科学)	1.15	平成28		
博士後期課程	3	42	-	126	博士(人間科学)	1.34	平成28		
法学研究科								大阪府豊中市 待兼山町1番6号	
法学・政治学専攻									
博士前期課程	2	35	-	70	修士(法学)	0.94	平成20		
博士後期課程	3	12	-	36	博士(法学)	1.25	平成20		
経済学研究科								大阪府豊中市 待兼山町1番7号	

経済学専攻												
博士前期課程	2	55	-	110	修士(経済学)	1.05	平成24					
博士後期課程	3	20	-	60	修士(応用経済学) 博士(経済学) 博士(応用経済学)	0.93	平成26					
政策専攻												
博士後期課程	3	-	-	-	博士(応用経済学)	-	平成20					平成26年度より学生募集停止
経営学系専攻												
博士前期課程	2	28	-	56	修士(経済学) 修士(経営学)	1.00	平成20					
博士後期課程	3	5	-	15	博士(経済学) 博士(経営学)	2.06	平成20					
理学研究科												大阪府豊中市 待兼山町1番1号
数学専攻												
博士前期課程	2	32	-	64	修士(理学)	0.89	平成20					
博士後期課程	3	16	-	48	博士(理学)	0.56	平成20					
物理学専攻												
博士前期課程	2	68	-	136	修士(理学)	1.29	平成20					
博士後期課程	3	33	-	99	博士(理学)	0.75	平成20					
化学専攻												
博士前期課程	2	60	-	120	修士(理学)	1.10	平成20					
博士後期課程	3	30	-	90	博士(理学)	0.75	平成20					
生物科学専攻												
博士前期課程	2	54	-	108	修士(理学)	1.16	平成20					
博士後期課程	3	23	-	69	博士(理学)	1.04	平成20					
高分子科学専攻												
博士前期課程	2	24	-	48	修士(理学)	1.27	平成20					
博士後期課程	3	11	-	33	博士(理学)	0.72	平成20					
宇宙地球科学専攻												
博士前期課程	2	28	-	56	修士(理学)	1.28	平成20					
博士後期課程	3	13	-	39	博士(理学)	0.61	平成20					
医学系研究科												大阪府吹田市 山田丘2番2号
医学専攻												
博士課程	4	172	-	688	博士(医学)	1.11	平成23					
医科学専攻												
修士課程	2	20	-	40	修士(医科学) 修士(公衆衛生学)	1.12	平成20					
保健学専攻												大阪府吹田市 山田丘1番7号
博士前期課程	2	81	-	162	修士(保健学) 修士(看護学)	1.27	平成20					
博士後期課程	3	23	-	69	博士(保健学) 博士(看護学)	1.78	平成20					
歯学研究科												大阪府吹田市 山田丘1番8号
口腔科学専攻												
博士課程	4	40	-	160	博士(歯学)	0.99	平成24					
薬学研究科												大阪府吹田市 山田丘1番6号



地球総合工学専攻													
博士前期課程	2	104	-	208	修士(工学)	1.18	平成20						
博士後期課程	3	23	-	69	博士(工学)	1.11	平成20						
ビジネスエンジニアリング専攻													
博士前期課程	2	38	-	76	修士(工学)	0.93	平成20						
博士後期課程	3	4	-	12	博士(工学)	1.91	平成20						
基礎工学研究科													
物質創成専攻													
博士前期課程	2	113	-	226	修士(工学)	0.97	平成20						
博士後期課程	3	31	-	93	博士(理学) 博士(工学)	0.78	平成20						
機能創成専攻													
博士前期課程	2	59	-	118	修士(工学)	1.23	平成20						
博士後期課程	3	15	-	45	博士(理学) 博士(工学)	0.82	平成20						
システム創成専攻													
博士前期課程	2	95	-	190	修士(工学)	1.18	平成20						
博士後期課程	3	24	-	72	博士(理学) 博士(工学)	1.59	平成20						
言語文化研究科													
言語文化専攻													
博士前期課程	2	-	-	-	修士(言語文化学)	-	平成20						令和4年度より学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士(言語文化学)	-	平成20						令和4年度より学生募集停止
言語社会専攻													
博士前期課程	2	-	-	-	修士(言語文化学)	-	平成20						令和4年度より学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	博士(言語文化学)	-	平成20						令和4年度より学生募集停止
日本語・日本文化専攻													
博士後期課程	3	-	-	-	博士(日本語・日本文化)	-	平成24						令和4年度より学生募集停止
国際公共政策研究科													
国際公共政策専攻													
博士前期課程	2	19	-	38	修士 (国際公共政策)	1.21	平成20						
博士後期課程	3	11	-	33	博士 (国際公共政策) (法学) (経済学)	0.72	平成20						
比較公共政策専攻													
博士前期課程	2	16	-	32	修士 (国際公共政策)	1.03	平成20						
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (国際公共政策) (法学) (経済学)	0.86	平成20						
情報科学研究科													
情報基礎数学専攻													
博士前期課程	2	12	-	24	修士(情報科学) 修士(理学) 修士(工学)	1.08	平成20						

博士後期課程	3	5	-	15	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	0.66	平成20	
情報数理学専攻								
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	0.85	平成20	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	0.33	平成20	
コンピュータ サイエンス専攻								
博士前期課程	2	26	-	52	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	1.17	平成20	
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	1.27	平成20	
情報システム 工学専攻								
博士前期課程	2	26	-	52	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	1.23	平成20	
博士後期課程	3	7	-	21	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	1.61	平成20	
情報ネットワーク 学専攻								
博士前期課程	2	26	-	52	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	1.44	平成20	
博士後期課程	3	7	-	21	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	1.28	平成20	
マルチメディア 工学専攻								
博士前期課程	2	26	-	52	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成20	
博士後期課程	3	7	-	21	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	1.52	平成20	
バイオ情報工学 専攻								
博士前期課程	2	24	-	48	修士 (情報科学) 修士 (理学) 修士 (工学)	1.12	平成20	
博士後期課程	3	6	-	18	博士 (情報科学) 博士 (理学) 博士 (工学)	0.55	平成20	
生命機能研究科								大阪府吹田市 山田丘1番3号
生命機能専攻								
博士課程	5	55	-	275	修士 (生命機能学) 修士 (理学) 修士 (工学) 博士 (生命機能学) 博士 (理学) 博士 (工学)	0.89	平成20	
高等司法研究科								大阪府豊中市 待兼山町1番6号
法務専攻								
専門職学位 課程	3	80	-	240	法務博士 (専門職)	0.87	平成20	
大阪大学・金沢大学・浜 松医科大学・千葉大学・福 井大学連合小児発達学研 究科								大阪府吹田市 山田丘2番2号
小児発達学専攻								
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (小児発達学)	1.03	令和6	
博士後期課程	3	15	-	45	博士 (小児発達学)	1.68	平成24	

附属施設の概要	<p>名 称：医学部附属病院          目 的：患者の診療を通じて医学の教育と研究を行う。          所在地：大阪府吹田市山田丘 2-1-5          設置年月：昭和6年5月          規模等：土地16,822㎡ 建物105,962㎡</p>
	<p>名 称：医学部附属動物実験施設          目 的：医学系研究科及び医学部（以下「研究科等」という。）における実験動物の飼育管理並びに学内における動物実験に関する教育訓練、実験動物の系統保存・供給及び凍結胚保存を行うとともに、研究科等における動物実験及び学内における疾患関連遺伝子動物実験につき研究者の利用に供することを目的とする。          所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2          設置年月：昭和61年4月          規模等：土地1,147㎡ 建物6,348㎡</p>
	<p>名 称：歯学部附属病院          目 的：患者の診療を通じて歯科医学の教育と研究を行う。          所在地：大阪府吹田市山田丘 1-8          設置年月：昭和28年8月          規模等：土地50,466㎡ 建物16,090㎡          (注) 土地は歯学部附属病院を含んだ歯学部・歯学研究科全体の面積。</p>
	<p>名 称：歯学部附属歯科技工士学校          目 的：歯科技工士法(昭和30年法律第168号)第14条第1号の規定に基づき、歯科技工士として必要な知識及び技能を授けることを目的とする。          所在地：大阪府吹田市山田丘 1-8          設置年月：昭和35年4月          規模等：土地50,466㎡ 建物397㎡          (注) 土地は歯学部附属歯科技工士学校を含んだ歯学部・歯学研究科全体の面積。</p>
	<p>名 称：人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター          目 的：多様な文化的・言語的背景を持つ子どもたちが、自分の言語や背景を活用し、ルーツに誇りを持って成長できるように、地域社会、地方自治体、学校の取り組みに対するサポートを通して、言語間や文化間、人と人との仲介者としての役割を果たし、社会課題の解決を目的とする。          所在地：大阪府箕面市船場東 3-5-10          設置年月：令和5年4月          規模等：土地39㎡ 建物39㎡</p>
	<p>名 称：人間科学研究科附属未来共創センター          目 的：学内及び国内外の教育研究機関等との連携の結節点としての役割を担うとともに多様な人材の活用により、新たな融合的学問領域の展開並びに学際的及び実践的な教育研究活動の強化を図ることを目的とする。          所在地：大阪府吹田市山田丘 1-2          設置年月：平成28年4月          規模等：土地1,161㎡ 建物129㎡</p>
	<p>名 称：人間科学研究科附属比較行動実験施設          目 的：行動の系統発生的及び個体発生的な比較研究並びにこれに必要な実験を行うことを目的とする。          所在地：大阪府吹田市山田丘 1-2          設置年月：昭和55年4月          規模等：土地576㎡ 建物576㎡</p>
	<p>名 称：理学研究科附属熱・エントロピー科学研究センター          目 的：熱、エントロピー測定による精密熱科学の展開と、新しい熱測定手法の開発を目指すとともに、積極的な国際連携研究を行うことを目的とする。          所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-1          設置年月：平成31年4月          規模等：土地258㎡ 建物530㎡</p>
	<p>名 称：理学研究科附属フォアフロント研究センター          目 的：専攻から独立した教育研究施設として、専攻、部局及び大学の枠を超えた新たな分野横断型研究並びに挑戦的・独創的研究の開拓及び展開並びに新たな学問領域の開拓等の最先端の基礎研究・学術的研究を個人研究やプロジェクト研究により推進するとともに、これらの研究に係る産学官連携を推進することを目的とする。          所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-1          設置年月：令和4年4月          規模等：土地754㎡ 建物3,112㎡          (注) 土地・建物は理学研究科附属フォアフロント研究センターを含んだ教育研究交流棟（理学J棟）の面積。</p>
<p>名 称：理学研究科附属先端強磁場科学研究センター          目 的：超強磁場研究の将来を担う人材の育成を図るとともに、学内及び国内外の教育研究機関との共同研究を推進することにより、超強磁場、超高压及び極低温の複合極限実験環境の創成を目指すことを目的とする。          所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-1          設置年月：平成26年4月          規模等：土地1,740㎡ 建物1,050㎡</p>	

<p>名 称：医学系研究科附属共同研究実習センター  目的：医学系研究科における高度な医学研究・教育用設備機器類を総合的に配置し、医学研究・教育の向上と充実を図ることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2  設置年月：昭和62年5月  規模等：土地1,284㎡ 建物1,526㎡</p>
<p>名 称：医学系研究科附属ソインリサーチセンター  目的：双生児を対象に、人間の健康問題に関する環境因子を解明し、予防医学の進展に寄与することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 1-7  設置年月：平成21年4月  規模等：土地25,957㎡ 建物4,390㎡</p>
<p>名 称：医学系研究科附属未来医療イメージングセンター  目的：医学系研究科における放射線施設の安全管理及び放射性同位元素等を用いた教育研究を推進するとともに、PET(Positron Emission Tomography)による分子イメージング研究の向上と充実を図ることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2  設置年月：平成28年6月  規模等：土地2,098㎡ 建物2,181㎡</p>
<p>名 称：医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター  目的：産学官連携及びブライフイノベーションを推進し、生体に備わる免疫系及び再生系に関する最先端的融合研究を結集させ、世界に類を見ない医薬等の融合療法を開発する拠点を整備することにより、健康社会の実現と地域経済の活性化を推進することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2  設置年月：平成26年4月  規模等：土地2,317㎡ 建物11,170㎡</p>
<p>名 称：医学系研究科附属次のいのちを守る人材育成教育研究センター  目的：次のいのちを守るべく人材育成教育研究拠点を形成し、死因究明等に関する課題解決に取り組むとともに、国内における死因究明等に携わる人材を育成することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2  設置年月：令和5年10月  規模等：土地2,080㎡ 建物21㎡</p>
<p>名 称：歯学研究科附属口腔科学フロンティアセンター  目的：高度先端口腔科学の研究及び教育の遂行に資するため、高度な歯学研究・教育用設備機器類を総合的に配置し、歯学研究・教育の向上と充実を図り、歯学研究科の教員その他の者の共同利用の促進を図るとともに、学際センターとしての中心的な役割を果たすことを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 1-8  設置年月：平成23年7月  規模等：土地50,466㎡ 建物672㎡  (注)土地は歯学研究科附属口腔科学フロンティアセンターを含んだ歯学部・歯学研究科全体の面積。</p>
<p>名 称：薬学研究科附属薬用植物園  目的：園内に薬用植物を栽培して、学術研究及び教育に資することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 1-6  設置年月：昭和49年4月  規模等：土地680㎡ 建物960㎡</p>
<p>名 称：工学研究科附属精密工学研究センター  目的：物理・化学現象を原子・電子論的立場から思考する原子論的生産技術を継続的に創造し、これを基盤に工学研究科の新規な技術シーズを具現化して社会に還元する独自の最先端生産技術を開発するとともに、その成果を世界に発信する創造性豊かな卓越した中核的研究拠点として、精密工学の基礎と応用の研究及び教育を遂行することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-1  設置年月：令和3年4月  規模等：土地997㎡ 建物1,012㎡</p>
<p>名 称：工学研究科附属構造・機能先進材料デザイン教育研究センター  目的：材料工学の将来を担う国際性及び創造性を備えた若手人材の育成を図るとともに、学内及び国内外の教育研究機関との金属材料を主とした材料科学分野に関する共同研究を推進することにより、大阪大学を当該分野における教育研究の世界的拠点として発展させることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-1  設置年月：平成20年4月  規模等：土地28㎡ 建物28㎡</p>
<p>名 称：工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター  目的：工学研究科の領域横断型の研究教育の拠点として、社会課題及びニーズに対応しつつ、未来社会に向けたイノベーション創出につながる新たな学術領域の開拓及びこれらの領域を牽引する次世代リーダーの育成を促進することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-1  設置年月：令和2年4月  規模等：土地199㎡ 建物271㎡</p>

<p>名 称：工学研究科附属フォトニクスセンター  目的：工学研究科のフォトニクスに関する研究及び人材育成の拠点として、異分野融合を推進するとともに、産業の基盤となるフォトニクス研究の強化並びに産学官連携によるオープンイノベーション及び社会実装を实践することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-1  設置年月：平成29年4月  規模等：土地1,029㎡ 建物4,990㎡</p>
<p>名 称：基礎工学研究科附属極限科学センター  目的：極限環境の生成及び計測による物質科学研究の深化並びにこれに基づく新材料及び新規デバイス・システムの創出を目指すとともに、共同研究を通じた国際的な研究を展開することを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-3  設置年月：平成26年4月  規模等：土地6,467㎡ 建物29,133㎡  (注) 土地・建物は基礎工学研究科附属極限科学センターを含んだ基礎工学研究科本館の面積。</p>
<p>名 称：基礎工学研究科附属未来研究推進センター  目的：領域横断及び異分野融合による萌芽研究を推進するとともに、他機関との研究連携を積極的に行い、新しい学術領域を創成することを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-3  設置年月：平成26年4月  規模等：土地6,467㎡ 建物29,133㎡  (注) 土地・建物は基礎工学研究科附属未来研究推進センターを含んだ基礎工学研究科本館の面積。</p>
<p>名 称：基礎工学研究科附属スピントロニクス学術連携研究教育センター  目的：国内外との共同利用・共同研究プロジェクトを通じて、世界トップレベルにある日本のスピントロニクス研究の国際競争力のさらなる向上、新産業の創成、現産業の強化及び人材育成プログラムの企画・実施により、地球規模の全人類の課題の解決及び独創性あふれる次世代研究者の育成を図ることを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-3  設置年月：平成28年4月  規模等：土地6,467㎡ 建物29,133㎡  (注) 土地・建物は基礎工学研究科附属スピントロニクス学術連携研究教育センターを含んだ基礎工学研究科本館の面積。</p>
<p>名 称：基礎工学研究科附属産学連携センター  目的：基礎工学研究科の研究成果を広く社会に展開するため、産業界と連携するとともに、教育面での交流を通して、研究者及び高度技術者の人材育成を図ることを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-3  設置年月：平成29年4月  規模等：土地6,467㎡ 建物29,133㎡  (注) 土地・建物は基礎工学研究科附属産学連携センターを含んだ基礎工学研究科本館の面積。</p>
<p>名 称：基礎工学研究科附属太陽エネルギー化学研究センター  目的：太陽エネルギーによる化学的な変換を研究するとともに、新しい太陽エネルギーの利用技術の開発を推進することを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-3  設置年月：令和3年4月  規模等：土地291㎡ 建物528㎡</p>
<p>名 称：大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター  目的：子どものこころの発達に関する新しい診断法、治療法及び教育方法の開発を行うことを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2  設置年月：平成22年4月  規模等：土地997,110㎡ 建物42㎡  (注) 土地は大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センターを含んだ吹田地区の面積。</p>
<p>名 称：微生物病研究所  目的：微生物病及びがんその他の特定の難治疾患に関する学理並びにその応用の研究を行うことを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-1  設置年月：昭和42年6月  規模等：土地8,702㎡ 建物39,945㎡</p>
<p>名 称：微生物病研究所附属感染動物実験施設  目的：感染、発癌その他の研究に必要な動物実験を行うことを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-1  設置年月：昭和42年6月  規模等：土地1,626㎡ 建物4,901㎡</p>
<p>名 称：微生物病研究所附属難治感染症対策研究センター  目的：難治感染症に対する病原体の同定、ワクチン開発、感染病態の解析及び治療法の開発研究を行うとともに、病原性微生物の保存を行うことを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-1  設置年月：平成17年4月  規模等：土地3,751㎡ 建物985㎡</p>

<p>名 称：微生物病研究所附属 バイオインフォマティクスセンター  目的：学内外のバイオインフォマティクス研究者を集結させ、ビッグデータの学内外での共有体制を整えることによって最先端の共同研究及び異分野融合研究を推進するとともに、次世代を担う人材の育成を図る「バイオインフォマティクス総合教育研究プラットフォーム」を形成することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-1  設置年月：令和5年5月  規模等：土地409㎡ 建物945㎡</p>
<p>名 称：微生物病研究所附属感染症国際研究センター  目的：北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター、東京大学医科学研究所附属感染症国際研究センター及び長崎大学熱帯医学研究所と連携し、感染症に対する先端的な医学・生物学の研究を行うとともに、感染症研究者の養成を図ることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-1  設置年月：平成17年4月  規模等：土地2,679㎡ 建物723㎡</p>
<p>名 称：産業科学研究所  目的：自然科学に関する特殊事項で産業に必要なものの基礎的学理及びその応用の研究を目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1  設置年月：昭和14年4月  規模等：土地10,582㎡ 建物37,985㎡</p>
<p>名 称：産業科学研究所附属産業科学ナノテクノロジーセンター  目的：ナノテクノロジーに特化した研究を格段に推進することを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1  設置年月：平成14年4月  規模等：土地1,132㎡ 建物6,254㎡</p>
<p>名 称：産業科学研究所附属総合解析センター  目的：材料科学、情報科学及び生体科学に関する各種の分析及び測定を行うとともに、その周辺技術に関する研究を行うことを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1  設置年月：平成21年4月  規模等：土地324㎡ 建物969㎡</p>
<p>名 称：産業科学研究所附属量子ビーム科学研究施設  目的：量子ビームを用いた研究及びその関連基盤研究を推進し、電子線形加速器、コバルト60ガンマ線照射装置等の放射線関連設備の運営、維持及び運転並びに放射線安全管理を行うことを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1  設置年月：平成21年4月  規模等：土地1,909㎡ 建物4,226㎡</p>
<p>名 称：蛋白質研究所  目的：化学、生物、物理、医学などの様々な学問分野を基礎として、蛋白質の構造と機能の基礎的研究を行い、それらに立脚してさまざまな高次生命機能を分子及び原子レベルで明らかにすることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 3-2  設置年月：昭和33年4月  規模等：土地32,000㎡ 建物9,003㎡</p>
<p>名 称：社会経済研究所  目的：社会が直面する様々な経済問題について世界中の経済学研究機関と競争かつ協調しながら世界トップレベルの理論的・実証的研究、政策分析、経済実験を行い、研究の過程で得られた新たな知見を広く国際社会に還元し、経済政策や制度設計に貢献することを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 6-1  設置年月：昭和37年4月  規模等：土地7,978㎡ 建物2,996㎡</p>
<p>名 称：接合科学研究所  目的：溶接・接合技術に関する基礎・応用研究を行うとともに、学内、他の大学及び研究機関の研究者の共同利用に供することを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1  設置年月：昭和47年5月 溶接工学研究所として設置、平成8年4月 接合科学研究所に改組  規模等：土地36,111㎡ 建物9,018㎡</p>
<p>名 称：接合科学研究所附属多次元造形研究センター  目的：多次元造形科学と技術の新たな構築に関する基礎研究及び応用研究を行うことを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1  設置年月：令和4年4月  規模等：土地36,111㎡ 建物2,654㎡  (注) 土地は接合科学研究所附属多次元造形研究センターを含んだ接合科学研究所の面積。</p>
<p>名 称：レーザー科学研究所  目的：レーザー科学の基礎及び応用に関する研究及び教育を行うとともに、大学及び研究機関等の研究者の共同利用に供することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘 2-6  設置年月：平成29年5月  規模等：土地43,785㎡ 建物26,731㎡</p>

<p>名称：附属図書館  目的：大阪大学の教育研究及び学習に必要な図書、学術雑誌、電子資料その他の学術情報資料を収集、整理、保存及び提供を行うことにより、本学における教育研究の進展に資するとともに、広く学術の発展に寄与することを目的とする。  所在地：（総合図書館） 大阪府豊中市待兼山町1-4  （生命科学図書館） 大阪府吹田市山田丘2-3  （理工学図書館） 大阪府吹田市山田丘2-1  （外国学図書館） 大阪府箕面市船場東3丁目10-1  設置年月：（総合図書館） 昭和6年5月  （生命科学図書館） 平成4年4月  （理工学図書館） 昭和45年10月  （外国学図書館） 令和3年5月  規模等：（総合図書館） 土地4,668㎡ 建物20,218㎡  （生命科学図書館） 土地1,789㎡ 建物5,884㎡  （理工学図書館） 土地1,851㎡ 建物5,214㎡  （外国学図書館） 土地7,529㎡ 建物7,680㎡</p>
<p>名称：超高压電子顕微鏡センター  目的：超高压電子顕微鏡及びその関連設備を整備運用して、超高压電子顕微鏡による応用研究及びその周辺技術の開発を共同的に推進することを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘7-1  設置年月：昭和49年4月  規模等：土地2,041㎡ 建物3,976㎡</p>
<p>名称：環境安全研究管理センター  目的：環境保全及び安全管理に関する研究及び教育を行うとともに、環境保全及び安全管理対策を立案し、実施することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘2-4  設置年月：平成16年4月  規模等：土地292㎡ 建物559㎡</p>
<p>名称：国際教育交流センター  目的：学内共同教育研究施設として、国際教育及び国際交流に関する企画及び運営に参画するとともに、国際教育及び国際交流の実践並びにこれらに関連するテーマに係る調査及び研究を通じて大阪大学の国際化を推進することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘1-1  設置年月：平成22年4月  規模等：土地854㎡ 建物1,225㎡</p>
<p>名称：生物学国際交流センター  目的：生物学の基礎と応用に関する研究を行うとともに、これに関連する領域について諸外国との学術交流を推進することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘2-1  設置年月：平成7年4月  規模等：土地958㎡ 建物4,187㎡</p>
<p>名称：総合学術博物館  目的：学内共同教育研究施設として、学術標本資料の収集、展示、公開及び教育研究の支援を行うとともに、学術標本資料の収集、活用、解析、情報化及び、博物館活動を推進するために必要な事項調査研究及び業務を目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町1-20  設置年月：平成14年4月  規模等：土地793㎡ 建物2,378㎡</p>
<p>名称：キャンパスライフ健康支援・相談センター  目的：保健管理、相談支援及びハラスメント相談に関する専門的な業務、調査及び研究を行い、本学における学生及び職員の心身の健康教育並びに健康の保持及び増進を図るとともに、すべての学生の多面的成長を促すことを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町1-17  設置年月：令和3年11月  規模等：土地1,960㎡ 建物3,714㎡  （注）土地は吹田、豊中、箕面地区のキャンパスライフ健康支援・相談センターの面積。</p>
<p>名称：数理・データ科学教育研究センター  目的：学内共同教育研究施設として、学内外の組織及び研究者と連携することにより、数理・データ科学技術に精通した金融・保険数理、数理モデル及びデータ科学分野の研究者及び実務家の養成を図り、当該学際融合分野の研究交流を推進するとともに、全学を対象とした学部教育を提供し、もって数理・データ科学に係る教育強化を実現することを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町1-3  設置年月：平成27年10月  規模等：土地416㎡ 建物1,951㎡  （注）土地・建物は数理・データ科学教育研究センターを含んだ基礎工学研究科1棟の面積。</p>
<p>名称：コアファシリティ機構  目的：世界と伍する高い研究パフォーマンスを発揮するための、研究基盤や研究支援体制の整備・強化にあたり、全学的かつ戦略的な企画・統括・調整を行うことを目的とする。科学機器リノベーション・工作支援センターと、低温センターを統合し、統合のシナジー効果を活かした研究支援・人材育成・共創推進を進める。  所在地：（豊中地区）大阪府豊中市待兼山町1-2  （吹田地区）大阪府吹田市山田丘2-1  設置年月：令和5年4月  規模等：（豊中地区）土地441,313㎡ 建物1,332㎡  （吹田地区）土地997,110㎡ 建物516㎡  （注）土地はコアファシリティ機構を含んだ各地区の面積。</p>

<p>名 称：日本語日本文化教育センター  目的：外国人留学生等に対する日本語及び日本文化等の教育並びにこれに必要な調査研究を実施するとともに、国際的な教育連携を図り、世界の日本語日本文化教育の充実発展に寄与することを目的とする。  所在地：大阪府箕面市船場東3-5-10  設置年月：昭和29年4月（平成17年4月 現センターへ改称）  規模等：土地1,014㎡ 建物3,959㎡</p>
<p>名 称：エマージングサイエンスデザインR<sup>3</sup>センター  目的：学内共同教育研究施設として、学内外の組織及び教員・研究者と連携し、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野を基盤として新たに勃興する科学の飛躍的發展のために理工系の横断・連携・融合領域に関する各種R3(リカレント、リスキリング、リトレーニングをいう。)教育研究プログラムを企画し、及び実施するとともに、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野に精通した理工系の研究者及び技術者の人材育成を図ることを目的とする。  所在地：大阪府豊中市待兼山町1-3  設置年月：令和4年4月  規模等：土地1,131㎡ 建物7,374㎡  (注) 土地・建物はエマージングサイエンスデザインR<sup>3</sup>センターを含んだ文理融合型研究棟の面積。</p>
<p>名 称：核物理研究センター  目的：原子核物理学の基礎及び応用研究を行うとともに、国際共同利用・共同研究拠点として国内外の大学その他の研究機関の研究者の共同利用に供することを目的とする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘10-1  設置年月：昭和46年4月  規模等：土地10,183㎡ 建物17,823㎡</p>
<p>名 称：D3センター  目的：本学がデータ駆動型大学たるべく、それを支える基盤的な研究・教育を行うとともに管理運営の助力を行い、また、全学的な支援として、本学の情報基盤の整備、情報化の推進、情報サービスの高度化及びこれらを活用した先進的な教育活動を加速させることを目的とする。また、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)に定める共同利用・共同研究拠点として認定を受けた研究施設として学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点を形成し、わが国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展・維持に資するものとする。  所在地：大阪府茨木市美穂ヶ丘5-1  設置年月：令和6年10月  規模等：土地4,418㎡ 建物15,657㎡</p>
<p>名 称：免疫学フロンティア研究センター  目的：免疫学とイメージング技術の融合を通して、免疫系を構成する個々の細胞の特性や相互作用を解析するとともに、免疫細胞動態の制御を基盤とした免疫操作技術を開発し、もって感染症、自己免疫疾患、アレルギー疾患、がんその他の重大な疾患に対する新たな免疫療法の確立を図ることを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘3-1  設置年月：平成19年10月  規模等：土地1,508.58㎡ 建物9,067㎡</p>
<p>名 称：大阪大学・日本財団 感染症センター  目的：大阪大学の英知を集結し、世界に開かれた感染症総合知のハブとして、感染症学・免疫学・感染制御にかかわる研究を強力に推進することにより、感染症の脅威から人々の「いのちと暮らし」を守り、社会・経済活動の維持に貢献することを目的とする。  所在地：大阪府吹田市山田丘1-10  設置年月：令和7年2月  規模等：建築面積(土地) 2,510㎡ 延床面積(建物) 17,764㎡</p>

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学部医学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員
教養教育系科目	学問への扉	学問への扉	1①②		2				○			11	10	9	41	678
		小計（1科目）			2	0	0		—				11	10	9	41
教養教育系科目	センアドヴァンスト・ミストヴァー・ア	アドヴァンスト・セミナー	1①②・③④		2			○								56
		小計（1科目）			0	2	0		—			0	0	0	0	56
教養教育系科目	人文科学系	日本語の最前線	1①②・③④		2			○								2
		アフリカ言語文化研究入門	1①②・③④		2			○								2
		現代の差別を考える	1①②・③④		2			○								1
		世界史の考え方	1①②・③④		2			○								7
		人間学の考え方	1①②・③④		2			○								4
		科学技術と倫理的・法的・社会的課題	1①②・③④		2			○								1
		日本語・日本文化を考えるA	1①②・③④		2			○								6
		フランス文学入門	1①②・③④		2			○								1
		芸術の歴史	1①②・③④		2			○								1
		ちがいをたのしむ	1①②・③④		2			○								1
		アジア言語文化研究入門B	1①②・③④		2			○								1
		マイノリティを読む	1①②・③④		2			○								1
		欧米の文化と社会を知るG	1①②・③④		2			○								1
		芸術の実践	1①②・③④		2			○								1
		人間学の話題	1①②・③④		2			○								4
		日本史の考え方	1①②・③④		2			○								5
		倫理学の基礎	1①②・③④		2			○								1
		西洋美術史	1①②・③④		2			○								1
		教養としての日本語	1①②・③④		2			○								3
		日本語・日本文化を考えるE	1①②・③④		2			○								1
		日本語・日本文化を考えるC	1①②・③④		2			○								1
		言語社会研究入門	1①②・③④		2			○								1
		アジア言語文化研究入門A	1①②・③④		2			○								1
		中東の文化と社会を知るC	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るF	1①②・③④		2			○								1
		欧米の文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								4
		ユーラシアの文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るE	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るD	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るC	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るH	1①②・③④		2			○								3
		アジアの文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								1
中国古典入門	1①②・③④		2			○								1		
アジア史学基礎B	1①②・③④		2			○								1		
日本史の話題	1①②・③④		2			○								2		
アジアの文化と社会を知るG	1①②・③④		2			○								1		
日本の文学E	1①②・③④		2			○								1		
英語学の基礎A	1①②・③④		2			○								1		
英語学の基礎B	1①②・③④		2			○								1		
中国の文学	1①②・③④		2			○								2		
芸術の場所	1①②・③④		2			○								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員
	音楽学	1①②・③④			2		○								1	
	美学	1①②・③④			2		○								1	
	哲学の基礎B	1①②・③④			2		○								1	
	世界の思想	1①②・③④			2		○								1	
	Cross Cultural Psychology	1①②・③④			2		○								1	
	英語学の基礎C	1①②・③④			2		○								2	
	欧米の政治・経済事情	1①②・③④			2		○								1	
	中東言語文化研究入門	1①②・③④			2		○								1	
	中東の文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	ことばの学問入門	1①②・③④			2		○								1	
	考古学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	西洋史学基礎A	1①②・③④			2		○								3	
	西洋の文学	1①②・③④			2		○								4	
	ドイツの文化・芸術	1①②・③④			2		○								1	
	比較文学入門	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学C	1①②・③④			2		○								1	
	芸術の世界	1①②・③④			2		○								1	
	東洋美術史	1①②・③④			2		○								1	
	哲学の基礎A	1①②・③④			2		○								1	
	中国哲学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	ユーラシアの文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								2	
	中国語圏の文学A	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学B	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るE	1①②・③④			2		○								1	
	日本語学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学A	1①②・③④			2		○								1	
	アフリカの文化と社会を知る	1①②・③④			2		○								2	
	欧米言語文化研究入門B	1①②・③④			2		○								1	
	歴史学の考え方	1①②・③④			2		○								2	
	欧米の文化と社会を知るC	1①②・③④			2		○								3	
	西洋史学基礎B	1①②・③④			2		○								2	
	中東の文化と社会を知るB	1①②・③④			2		○								1	
	欧米言語文化研究入門A	1①②・③④			2		○								1	
	アジアの文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	英米文学入門	1①②・③④			2		○								1	
	国語学入門	1①②・③④			2		○								1	
	アジア史学基礎A	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るF	1①②・③④			2		○								3	
	インド学の基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本語・日本文化を考えるD	1①②・③④			2		○								1	
	日本文学研究入門	1①②・③④			2		○								1	
	中国語圏の文学B	1①②・③④			2		○								1	
	外国の文学を知る	1①②・③④			2		○								1	
	日本語・日本文化を考えるB	1①②・③④			2		○								1	
	演劇学	1①②・③④			2		○								2	
	文芸学	1①②・③④			2		○								1	
	日本文学の名作を読む	1①②・③④			2		○								1	
	小計(90科目)				0	180	0		—						110	
社会科学系	行動学の考え方	1①②・③④			2		○								4	
	心理・行動科学入門	1①②・③④			2		○								4	
	感情・人格心理学	1①②・③④			2		○								2	
	行動学の話題	1①②・③④			2		○								4	
	心理学基礎実験	1①②・③④			2		○								3	
	社会学の考え方	1①②・③④			2		○								4	
	社会思想史	1①②・③④			2		○								2	
	現代文化論	1①②・③④			2		○								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員	
	現代社会を読み解く	1①②・③④			2		○									3	
	現代社会論	1①②・③④			2		○									1	
	社会科学のための確率統計	1①②・③④			2		○									1	
	社会学の話題	1①②・③④			2		○									6	
	アジアの途上国における開発と協力	1①②・③④			2		○									5	
	法学の話題	1①②・③④			2		○									1	
	日本国憲法	1①②・③④			2		○									15	
	法の世界	1①②・③④			2		○									5	
	法学の考え方	1①②・③④			2		○									3	
	国際社会の法を考える	1①②・③④			2		○									1	
	知的財産モラル	1①②・③④			2		○									3	
	政治学の話題	1①②・③④			2		○									2	
	政治の世界	1①②・③④			2		○									2	
	国際社会における法と政治	1①②・③④			2		○									1	
	現代の法と政治を考える	1①②・③④			2		○									5	
	マクロ経済学の考え方	1①②・③④			2		○									8	
	経済の世界	1①②・③④			2		○									6	
	経済現象を読み解く	1①②・③④			2		○									4	
	平和の問題を考える	1①②・③④			2		○									1	
	Japan in the World	1①②・③④			2		○									2	
	Introduction to Social Psychology	1①②・③④			2		○									1	
	Politics in Post-War Japan	1①②・③④			2		○									3	
	Media Sociology	1①②・③④			2		○									1	
	小計(31科目)			0	62	0		—			0	0	0	0	0	78	
学自系然科	健康・医療の基礎	1①②			2		○				1		1			1	
	健康・医療イノベーション学	1③④			2		○				1					1	
	小計(2科目)			4	0	0		—			1	0	1	0	0	1	
総合型	現代文化を読み解く	1①②・③④			2		○									18	
	哲学の考え方	1①②・③④			2		○									1	
	人文地理学の考え方	1①②・③④			2		○									1	
	人文地理学の話題	1①②・③④			2		○									1	
	遊牧民の文化と社会を知る	1①②・③④			2		○									1	
	現代差別論	1①②・③④			2		○									1	
	課題から考える知と社会のコミュニケーションデザイン	1①②・③④			2		○									6	
	科学技術の問題を考える	1①②・③④			2		○									1	
	現代日本の教育問題	1①②・③④			2		○									1	
	共生学の話題	1①②・③④			2		○									13	
	現代人権論	1①②・③④			2		○									1	
	コンピュータアルゴリズム入門	1①②・③④			2		○									2	
	コンピュータシステムの原理	1①②・③④			2		○									1	
	計算機シミュレーション入門	1①②・③④			2		○									1	
	情報探索入門	1①②・③④			2		○									1	
	現代の脳科学	1①②・③④			2		○				5	2	1	1		6	
	現代のスポーツサイエンス	1①②・③④			2		○									1	
	現代の医療と生命を考える	1①②・③④			2		○									2	
	現代社会における健康科学の考え方	1①②・③④			2		○									1	
	心とメンタルヘルス	1①②・③④			2		○									1	
	現代の環境を考える	1①②・③④			2		○									4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員	
	世界は今	1①②・③④			2		○									5	
	世界の事情を英語で学ぶ	1①②・③④			2		○									2	
	Basic Learning Skills 1	1①②・③④			2		○									2	
	文理融合に向けた数理科学 I	1①②・③④			2		○									36	
	文理融合に向けた数理科学 II	1①②・③④			2		○									1	
	数理モデリングの基礎	1①②・③④			2		○									1	
	科学・技術と情報の最前線	1①②・③④			2		○									10	
	実践的危機管理入門	1①②・③④			2		○									2	
	データ科学のための数理	1①②・③④			2		○									1	
	データ解析の実際	1①②・③④			2		○									1	
	工学と現代数学の接点	1①②・③④			2		○									1	
	病気のバイオサイエンスI	1①②・③④			2		○									2	
	今、がんは	1①②・③④			2		○									1	
	知性への誘い	1①②・③④			2		○				1					10	
	震災の知・復興の知	1①②・③④			2		○									1	
	福島での環境放射線実習	1①②・③④			2		○									28	
	現代キャリアデザイン論I	1①②・③④			2		○									3	
	放射線の自然科学、社会学、人文学	1①②・③④			2		○									2	
	共生社会とアクセシビリティを考える	1①②・③④			2		○									6	
	データサイエンスの基礎 I	1①②・③④			2		○				1					1	
	データサイエンスの基礎 II	1①②・③④			2		○									1	
	数理・データサイエンス・AI活用PBL	1①②・③④			2		○									3	
	情報と社会	1①②・③④			2		○									1	
	データ・AIエンジニアリング基礎	1①②・③④			2		○									1	
	データサイエンスのためのプログラミング入門	1①②・③④			2		○									1	
	カーボンニュートラルと私たちの未来	1①②・③④			2		○									1	
	ダイバーシティ&インクルージョンの世界	1①②・③④			2		○									3	
	阪大SDGs学入門	1①②・③④			2		○									6	
	大阪の防災-南海トラフ巨大地震・津波からあなたの身の守り方を学ぶ	1①②・③④			2		○									1	
	Chemistry and Society	1①②・③④			2		○									2	
	Biology and Society	1①②・③④			2		○									1	
	実践的プレゼンテーション入門：営業学に学ぶ	1①②・③④			2		○									6	
	SDGs+Beyondに向けた新しい共感・共助の経済づくり	1①②・③④			2		○									5	
	大阪大学での学びをデザインする	1①②・③④			2		○									5	
	証券投資を学ぶ	1①②・③④			2		○									1	
	大阪大学の歴史-適塾・緒方洪庵入門-	1①②・③④			2		○				1					20	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手以外の教員)		
	大阪大学の歴史ー大阪大学を創った人達ー万博スタディーズ 小計(59科目)	1①②・③④			2		○									8		
		1①②・③④			2		○									1		
					0	118	0		—		5	2	1	1	0	143		
	高度 科目 目 養	現代の生命倫理・法・経済を考える	3①②			2		○			1		1				11	
		小計(1科目)				2	0	0		—	1		1				11	
	育情 科目 目 教	情報科学基礎	1①			2				○	1			3			26	
		小計(1科目)				2	0	0		—	1			3			26	
	健康・ スポーツ 科目 目 教育	スマート・スポーツリテラシー	1①②・③④			2					1	3	2				27	
		スマート・ヘルスリテラシー	1①②・③④			2				○	1	4	2	1			8	
		小計(2科目)				0	4	0		—	1	4	2	1	0	29		
国際性 涵養 教育 系 科 目	第1 外国 語 (総合英語)	総合英語 (Liberal Arts & Sciences)	1①②・③④、 2①②			1			○							43		
		総合英語 (Performance Workshop)	1①②・③④、 2①②			1			○							16		
		総合英語 (Content-based English)	1①②・③④、 2①②			1			○							10		
		総合英語 (Project-based English)	1①②・③④、 2①②			1			○							15		
		総合英語 (Academic Skills)	1①②・③④、 2①②			1			○							9		
		小計(5科目)				0	5	0		—	0	0	0	0	0	76		
	第1 外国 語	実践英語 (e-learning入門)	1③④			1			○								4	
		実践英語 (e-learning応用)	2①③			1			○								4	
		小計(2科目)				0	2	0		—	0	0	0	0	0	4		
	第2 外国 語	ドイツ語初級I	1①②			1			○								15	
		ドイツ語初級II	1③④			1			○								18	
		ドイツ語中級	2①②			1			○								16	
		フランス語初級I	1①②			1			○								12	
		フランス語初級II	1③④			1			○								11	
フランス語中級		2①②			1			○								14		
ロシア語初級I		1①②			1			○								5		
ロシア語初級II		1③④			1			○								6		
ロシア語中級		2①②			1			○								6		
中国語初級I		1①②			1			○								17		
中国語初級II		1③④			1			○								18		
中国語中級		2①②			1			○								12		
総合日本語		1①②・③④、 2①②			1			○								2		
専門日本語	1①②・③④、 2①②			1			○								3			
	小計(14科目)				0	14	0		—	0	0	0	0	0	75			
グ ロー バル 理 解	地域言語文化演習 (ドイツ語)	1①②・③④、 2①②			2			○								21		
	地域言語文化演習 (フランス語)	1①②・③④、 2①②			2			○								3		
	地域言語文化演習 (ロシア語)	1①②・③④、 2①②			2			○								3		
	国際コミュニケーション演習 (ドイツ語)	1①②・③④、 2①②			2			○								2		
	国際コミュニケーション演習 (フランス語)	1①②・③④、 2①②			2			○								8		
	国際コミュニケーション演習 (ロシア語)	1①②・③④、 2①②			2			○								1		
	国際コミュニケーション演習 (中国語)	1①②・③④、 2①②			2			○								12		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員以外の教員				
	多文化コミュニケーション(日本語)	1①②・③④、 2①②			2				○							5				
	小計(8科目)			0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	54				
専門教育系科目	専門基礎教育科目	統計	統計学B-I	1①②		2			○								6			
			統計学B-II	1③④		2			○									3		
		数学	解析学概論	1①②		2				○								4		
			線形代数学概論	1③④		2				○								4		
		物理学	力学入門	1①②			2			○								2		
			力学通論	1①②			2			○								8		
			電磁気学入門	1③④			2			○								2		
			電磁気学通論	1③④			2			○								7		
		化学	化学基礎論A	1①②		2				○								27		
			化学熱力学	1①②		2				○								3		
生物	生物学序論	1①②		2				○							1	8				
	基礎生物学実験	1①②		1						○						1				
実験	基礎物理学実験	1①②			1					○						34				
	基礎化学実験	1①②			1					○						53				
	小計(14科目)			11	14	0			—	1	0	0	0	0	0	151				
専門教育系科目	専門基礎教育科目	基礎医学系科目	医学序説	1①②		○	2			○			1							
			生物科学概論	1②③④		○	2			○				2				4		
			データサイエンスA	2①②		○	2			○				1			1	1		
			基礎医学体験実習	1①②		○	1			○				1			1			
			遺伝学	2①②		○	3			○				5	2	1	2	9	講義:実習=3:7	
			形態学	2通		○	9			○				4	2	2	6	9	講義:実習=1:2	
			生理学(実験動物学を含む。)	2①②③		○	9			○				2	2		5	1	16	講義:実習=2:1
			生化学	2②③④		○	4			○				1			3	9	講義:実習=2:3	
			データサイエンスB	2③④		○	1			○				3	2		1	1		
			薬理学	3通		○	7			○				1	2	1	1	2	講義:実習=2:3	
			病理学	3①②		○	8			○				1	1				講義:実習=7:3	
			感染症・免疫学	3通		○	8			○				3	1		3	8	講義:実習=4:1	
			放射線基礎医学	3通		○	2			○								2	講義:実習=2:3	
			医学概論	3①②		○	1			○				1			2	1		
			基礎医学講座配属	3②③		○	8			○				1	1		1			
			環境医学・公衆衛生学	3①②		○	2			○				1	1		3			
			環境医学・公衆衛生学実習	4①②③		○	2			○				1	1		3	2		
			研究室配属	5④		○	5			○				1	1			1		
			MD研究者育成プログラム	1~6通		○		18			○			1	1		1		講義:実習=1:6	
				小計(19科目)	—		76	18	0			—	17	10	4	25	1	62		
臨床医学系	臨床医学系	臨床講義1	3④・4①②		○	23			○			20	10	21	40	56				
		臨床講義2	4①②③		○	20			○			15	7	15	30	55				
		臨床医学特論	6②		○	3			○			7	1		2	6				
		小計(3科目)	—		46	0	0			—	37	16	36	72		101				
臨床実習科目	臨床実習科目	早期臨床体験実習1	1②		○	1					○	1								
		早期臨床体験実習2	2④		○	1					○	1	1	1						
		臨床導入実習	4③④		○	2					○	1	1	1						
		臨床実習1	4④・5①②		○	16					○	1	1	1						
		臨床実習2	5②③④		○	11					○	1	1	1						
		選択実習	6①②		○	8					○	1	1	1						
		臨床実習3	6通		○	5					○	1	1	1						
		小計(7科目)	—		44	0	0			—	1	1	1							
語専科目英	語専科目英	医学英語1	2③④		○	1				○		2								
		医学英語2	3④・4①②③		○	1				○		2								
		小計(2科目)	—		2	0	0			—	2									
合計(262科目)		—		189	435	0			—	52	26	40	96	1	1611					
学位又は称号		学士(医学)		学位又は学科の分野			医学関係													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目について、計33単位以上修得しなければならない。なお、3年次配当の高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く授業科目を履修し、計31単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。医学科編入学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位の修得を要さない。ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」は修得しなければならない。</p> <p>専門基礎教育科目について、計18単位以上修得しなければならない。全ての授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。医学科編入学生は、全ての授業科目の単位の修得を要さない。</p>	1 学年の学期区分	4期
<p>専門基礎教育科目について、基礎医学系科目76単位、臨床医学系科目46単位、臨床実習科目44単位及び専門英語科目2単位の合わせて168単位以上を修得し、かつ、Post-CC OSCE (Post-Clinical Clerkship OSCE、卒業前の客観的臨床能力試験)に合格しなければならない。ただし、医学科編入学生は、「医学序説」、「生物科学概論」、「基礎医学体験実習」及び「早期臨床体験実習1」の単位の修得を要さない。</p>	1 学期の授業期間	8週
<p>進級要件、卒業要件単位等</p> <p>1. 2年次の学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位(ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く。)、専門基礎教育科目の単位並びに基礎医学系科目(必修科目に限る。)及び臨床実習科目のうち1・2年次配当科目の単位並びに「医学英語1」の単位を全て修得しなければ、3年次へ進級することができない。</p> <p>2. 3年次の学生は、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」及び基礎医学系科目(必修科目に限る。)のうち3年次配当科目の単位を全て修得しなければ、臨床医学系科目を履修することができず、4年次へ進級することができない。</p> <p>3. 4年次の学生は、「環境医学・公衆衛生学実習」、「臨床講義1・2」、「臨床導入実習」及び「医学英語2」の単位を修得し、かつ、進級する直前に受けた2つの共用試験(CBT(Computer-Based Testing)及びOSCE(Objective Structured Clinical Examination))に合格しなければ、臨床実習科目を履修することができず、5年次へ進級することができない(CBT及びOSCEの成績は次年度に持ち越すことはできない。)</p> <p>4. 5年次の学生は、「臨床実習1」、「臨床実習2」及び「研究室配属」の単位を全て修得しなければ、6年次へ進級することができない。</p> <p>5. 1から4までにより留年した者が再履修すべき授業科目は、不合格科目のみとする。</p> <p>6. 卒業の認定を得るには、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目から33単位以上、専門基礎教育科目から18単位以上、専門教育科目から168単位以上、計219単位以上を修得し、かつPost-CC OSCEに合格しなければならない。</p>	1 時限の授業時間	<p>全学共通教育科目90分</p> <p>専門教育系科目50～90分 (科目により異なる)</p>

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとす場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
  - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
  - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
  - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校等の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教育課程等の概要																			
(医学部医学科)																			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員			
教養教育系科目	学問への扉	学問への扉	1①②		2				○		2	1	5	9	3				
		小計(1科目)			2	0	0		—		2	1	5	9		3			
	高度 科 目 の 教 養 教 育	現代の生命倫理・ 法・経済を考える	3①②		2				○		1		1			11			
		小計(1科目)			2	0	0		—		1		1			11			
専門教育系科目	基礎 医 学 系 科 目	医学序説	1①②	○	2				○		1								
		生物科学概論	1②③④	○	2				○		2			2		4			
		データサイエンスA	2①②	○	2				○		1			1		1			
		基礎医学体験実習	1①②	○	1					○	1	1		1					
		遺伝学	2①②	○	3					○	5	2		2		9	講義：実習=3：7		
		形態学	2通	○	9				○	○	4	2	2	6		9	講義：実習=1：2		
		生理学(実験動物 学を含む。)	2①②③	○	9				○	○	2	2		5	1	16	講義：実習=2：1		
		生化学	2②③④	○	4				○	○	1	1		3		9	講義：実習=2：3		
		データサイエンスB	2③④	○	1				○	○	3	2		1		1			
		薬理学	3通	○	7				○	○	1	2	1	1		2	講義：実習=2：3		
		病理学	3①②	○	8				○	○	1	1				2	講義：実習=7：3		
		感染症・免疫学	3通	○	8				○	○	3	1		3		8	講義：実習=4：1		
		放射線基礎医学	3通	○	2				○	○						2	講義：実習=2：3		
		医学概論	3①②	○	1				○		1			2		1			
		基礎医学講座配属	3②③	○	8					○	1	1		1					
		環境医学・公衆衛 生学	3①②	○	2				○		1	1		3					
		環境医学・公衆衛 生学実習	4①②③	○	2					○	1	1		3		2			
		研究室配属	5④	○	5					○	1	1				1			
		MD研究者育成プロ グラム	1～6通	○		18				○	1	1		1			講義：実習=1：6		
			小計(19科目)	—		76	18	0		—		17	10	4	25	1	62		
		科 目 臨 床 医 学 系	臨 床 講 義	臨床講義1	3④・4①②	○	23				○		20	10	21	40		56	
				臨床講義2	4①②③	○	20				○		15	7	15	30		55	
				臨床医学特論	6②	○	3				○		7	1		2		6	
小計(3科目)	—				46	0	0		—		37	16	36	72		101			
科 目 臨 床 実 習 科 目	臨 床 実 習	早期臨床体験実習 1	1②	○	1					○	1								
		早期臨床体験実習 2	2④	○	1					○	1	1	1						
		臨床導入実習	4③④	○	2					○	1	1	1						
		臨床実習1	4④・5①②	○	16					○	1	1	1						
		臨床実習2	5②③④	○	11					○	1	1	1						
		選択実習	6①②	○	8					○	1	1	1						
		臨床実習3	6通	○	5					○	1	1	1						
	小計(7科目)	—		44	0	0		—		1	1	1							
科 目 専 門 英 語	専 門 英 語	医学英語1	2③④	○	1				○		2								
		医学英語2	3④・4①②③	○	1				○		2								
		小計(2科目)	—		2	0	0		—		2								
合計(33科目)		—		172	18	0		—		52	26	40	96	1	150				
学位又は称号		学士(医学)		学位又は学科の分野				医学関係											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目について、計33単位以上修得しなければならない。なお、3年次配当の高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く授業科目を履修し、計31単位を修得しなければならない。3年次に進級することができない。医学科編入学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位の修得を要さない。ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」は修得しなければならない。</p> <p>専門基礎教育科目について、計18単位以上修得しなければならない。全ての授業科目の単位を修得しなければならない。3年次に進級することができない。医学科編入学生は、全ての授業科目の単位の修得を要さない。</p>	1 学年の学期区分	4期
<p>専門教育科目について、基礎医学系科目76単位、臨床医学系科目46単位、臨床実習科目44単位及び専門英語科目2単位の合わせて168単位以上を修得し、かつ、Post-CC OSCE (Post-Clinical Clerkship OSCE、卒業前の客観的臨床能力試験)に合格しなければならない。ただし、医学科編入学生は、「医学序説」、「生物学概論」、「基礎医学体験実習」及び「早期臨床体験実習1」の単位の修得を要さない。</p>	1 学期の授業期間	8週
<p>進級要件、卒業要件単位等</p> <p>1. 2年次の学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位(ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く。)、専門基礎教育科目の単位並びに基礎医学系科目(必修科目に限る。)及び臨床実習科目のうち1・2年次配当科目の単位並びに「医学英語1」の単位を全て修得しなければならない。3年次へ進級することができない。</p> <p>2. 3年次の学生は、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」及び基礎医学系科目(必修科目に限る。)のうち3年次配当科目の単位を全て修得しなければ、臨床医学系科目を履修することができず、4年次へ進級することができない。</p> <p>3. 4年次の学生は、「環境医学・公衆衛生学実習」、「臨床講義1・2」、「臨床導入実習」及び「医学英語2」の単位を修得し、かつ、進級する直前に受けた2つの共用試験(CBT(Computer-Based Testing)及びOSCE(Objective Structured Clinical Examination))に合格しなければならない。臨床実習科目を履修することができず、5年次へ進級することができない(CBT及びOSCEの成績は次年度に持ち越しすることはできない。)</p> <p>4. 5年次の学生は、「臨床実習1」、「臨床実習2」及び「研究室配属」の単位を全て修得しなければならない。6年次へ進級することができない。</p> <p>5. 1から4までにより留年した者が再履修すべき授業科目は、不合格科目のみとする。</p> <p>6. 卒業の認定を得るには、大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校(収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合)又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。</p>	1 時限の授業時間	<p>全学共通教育科目90分</p> <p>専門教育系科目50～90分 (科目により異なる)</p>

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
  - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
  - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
  - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学部医学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員(助手を除く)以外の教員
教養教育系科目	学問への扉	学問への扉	1①②		2				○		9	9	4	32		675
		小計(1科目)			2	0	0		—		9	9	4	32		675
	センアドミスト・ナトヴァ	アドヴァンスト・セミナー	1①②・③④			2			○							56
		小計(1科目)			0	2	0		—		0	0	0	0		56
基盤教養教育科目	人文学系	日本学の最前線	1①②・③④		2			○								2
		アフリカ言語文化研究入門	1①②・③④		2			○								2
		現代の差別を考える	1①②・③④		2			○								1
		世界史の考え方	1①②・③④		2			○								7
		人間学の考え方	1①②・③④		2			○								4
		科学技術と倫理的・法的・社会的課題	1①②・③④		2			○								1
		日本語・日本文化を考えるA	1①②・③④		2			○								6
		フランス文学入門	1①②・③④		2			○								1
		芸術の歴史	1①②・③④		2			○								1
		ちがいをたのしむ	1①②・③④		2			○								1
		アジア言語文化研究入門B	1①②・③④		2			○								1
		マイノリティを読む	1①②・③④		2			○								1
		欧米の文化と社会を知るG	1①②・③④		2			○								1
		芸術の実践	1①②・③④		2			○								1
		人間学の話題	1①②・③④		2			○								4
		日本史の考え方	1①②・③④		2			○								5
		倫理学の基礎	1①②・③④		2			○								1
		西洋美術史	1①②・③④		2			○								1
		教養としての日本語	1①②・③④		2			○								3
		日本語・日本文化を考えるE	1①②・③④		2			○								1
		日本語・日本文化を考えるC	1①②・③④		2			○								1
		言語社会研究入門	1①②・③④		2			○								1
		アジア言語文化研究入門A	1①②・③④		2			○								1
		中東の文化と社会を知るC	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るF	1①②・③④		2			○								1
		欧米の文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								4
		ユーラシアの文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るE	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るD	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るC	1①②・③④		2			○								1
		アジアの文化と社会を知るH	1①②・③④		2			○								3
		アジアの文化と社会を知るB	1①②・③④		2			○								1
中国古典入門	1①②・③④		2			○								1		
アジア史学基礎B	1①②・③④		2			○								1		
日本史の話題	1①②・③④		2			○								2		
アジアの文化と社会を知るG	1①②・③④		2			○								1		
日本の文学E	1①②・③④		2			○								1		
英語学の基礎A	1①②・③④		2			○								1		
英語学の基礎B	1①②・③④		2			○								1		
中国の文学	1①②・③④		2			○								2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く
	芸術の場所	1①②・③④			2		○								1	
	音楽学	1①②・③④			2		○								1	
	美学	1①②・③④			2		○								1	
	哲学の基礎B	1①②・③④			2		○								1	
	世界の思想	1①②・③④			2		○								1	
	Cross Cultural Psychology	1①②・③④			2		○								1	
	英語学の基礎C	1①②・③④			2		○								2	
	欧米の政治・経済事情	1①②・③④			2		○								1	
	中東言語文化研究入門	1①②・③④			2		○								1	
	中東の文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	ことばの学問入門	1①②・③④			2		○								1	
	考古学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	西洋史学基礎A	1①②・③④			2		○								3	
	西洋の文学	1①②・③④			2		○								4	
	ドイツの文化・芸術	1①②・③④			2		○								1	
	比較文学入門	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学C	1①②・③④			2		○								1	
	芸術の世界	1①②・③④			2		○								1	
	東洋美術史	1①②・③④			2		○								1	
	哲学の基礎A	1①②・③④			2		○								1	
	中国哲学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	ユーラシアの文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								2	
	中国語圏の文学A	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学B	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るE	1①②・③④			2		○								1	
	日本語学基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本の文学A	1①②・③④			2		○								1	
	アフリカの文化と社会を知る	1①②・③④			2		○								2	
	欧米言語文化研究入門B	1①②・③④			2		○								1	
	歴史学の考え方	1①②・③④			2		○								2	
	欧米の文化と社会を知るC	1①②・③④			2		○								3	
	西洋史学基礎B	1①②・③④			2		○								2	
	中東の文化と社会を知るB	1①②・③④			2		○								1	
	欧米言語文化研究入門A	1①②・③④			2		○								1	
	アジアの文化と社会を知るA	1①②・③④			2		○								1	
	英米文学入門	1①②・③④			2		○								1	
	国語学入門	1①②・③④			2		○								1	
	アジア史学基礎A	1①②・③④			2		○								1	
	欧米の文化と社会を知るF	1①②・③④			2		○								3	
	インド学の基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本語基礎	1①②・③④			2		○								1	
	日本語・日本文化を考えるD	1①②・③④			2		○								1	
	日本文学研究入門	1①②・③④			2		○								1	
	中国語圏の文学B	1①②・③④			2		○								1	
	外国の文学を知る	1①②・③④			2		○								1	
	日本語・日本文化を考えるB	1①②・③④			2		○								1	
	演劇学	1①②・③④			2		○								2	
	文芸学	1①②・③④			2		○								1	
	日本文学の名作を読む	1①②・③④			2		○								1	
	小計(90科目)			0	180	0		—							110	
社会科学系	行動学の考え方	1①②・③④			2		○								4	
	心理・行動科学入門	1①②・③④			2		○								4	
	感情・人格心理学	1①②・③④			2		○								2	
	行動学の話	1①②・③④			2		○								4	
	心理学基礎実験	1①②・③④			2		○								3	
	社会学の考え方	1①②・③④			2		○								4	
	社会思想史	1①②・③④			2		○								2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員		
	現代文化論	1①②・③④			2		○									1		
	現代社会を読み解く	1①②・③④			2		○									3		
	現代社会論	1①②・③④			2		○									1		
	社会科学のための確率統計	1①②・③④			2		○									1		
	社会学の話題	1①②・③④			2		○									6		
	アジアの途上国における開発と協力	1①②・③④			2		○									5		
	法学の話題	1①②・③④			2		○									1		
	日本国憲法	1①②・③④			2		○									15		
	法の世界	1①②・③④			2		○									5		
	法学の考え方	1①②・③④			2		○									3		
	国際社会の法を考える	1①②・③④			2		○									1		
	知的財産モラル	1①②・③④			2		○									3		
	政治学の話題	1①②・③④			2		○									2		
	政治の世界	1①②・③④			2		○									2		
	国際社会における法と政治	1①②・③④			2		○									1		
	現代の法と政治を考える	1①②・③④			2		○									5		
	マクロ経済学の考え方	1①②・③④			2		○									8		
	経済の世界	1①②・③④			2		○									6		
	経済現象を読み解く	1①②・③④			2		○									4		
	平和の問題を考える	1①②・③④			2		○									1		
	Japan in the World	1①②・③④			2		○									2		
	Introduction to Social Psychology	1①②・③④			2		○									1		
	Politics in Post-War Japan	1①②・③④			2		○									3		
	Media Sociology	1①②・③④			2		○									1		
	小計(31科目)				0	62	0			—	0	0	0	0	0	0	78	
学自系然科	健康・医療の基礎	1①②			2		○				1		1			1		
	健康・医療イノベーション学	1③④			2		○				1					1		
	小計(2科目)				4	0	0			—	1	0	1	0	0	1		
総合型	現代文化を読み解く	1①②・③④			2		○									18		
	哲学の考え方	1①②・③④			2		○									1		
	人文地理学の考え方	1①②・③④			2		○									1		
	人文地理学の話題	1①②・③④			2		○									1		
	遊牧民の文化と社会を知る	1①②・③④			2		○									1		
	現代差別論	1①②・③④			2		○									1		
	課題から考える知と社会のコミュニケーションデザイン	1①②・③④			2		○									6		
	科学技術の問題を考える	1①②・③④			2		○									1		
	現代日本の教育問題	1①②・③④			2		○									1		
	共生学の話題	1①②・③④			2		○									13		
	現代人権論	1①②・③④			2		○									1		
	コンピュータアルゴリズム入門	1①②・③④			2		○									2		
	コンピュータシステムの原理	1①②・③④			2		○									1		
	計算機シミュレーション入門	1①②・③④			2		○									1		
	情報探索入門	1①②・③④			2		○									1		
	現代の脳科学	1①②・③④			2		○				5	2	1	1		6		
	現代のスポーツサイエンス	1①②・③④			2		○									1		
	現代の医療と生命を考える	1①②・③④			2		○									2		
	現代社会における健康科学の考え方	1①②・③④			2		○									1		
	心とメンタルヘルス	1①②・③④			2		○									1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員	
	現代の環境を考える	1①②・③④			2		○									4	
	世界は今	1①②・③④			2		○									5	
	世界の事情を英語で学ぶ	1①②・③④			2		○									2	
	Basic Learning Skills 1	1①②・③④			2		○									2	
	文理融合に向けた数理科学 I	1①②・③④			2		○									36	
	文理融合に向けた数理科学 II	1①②・③④			2		○									1	
	数理モデリングの基礎	1①②・③④			2		○									1	
	科学・技術と情報の最前線	1①②・③④			2		○									10	
	実践的危機管理入門	1①②・③④			2		○									2	
	データ科学のための数理	1①②・③④			2		○									1	
	データ解析の実際	1①②・③④			2		○									1	
	工学と現代数学の接点	1①②・③④			2		○									1	
	病気のバイオサイエンスI	1①②・③④			2		○									2	
	今、がんは	1①②・③④			2		○									1	
	知性への誘い	1①②・③④			2		○			1						10	
	震災の知・復興の知	1①②・③④			2		○									1	
	福島での環境放射線実習	1①②・③④			2		○									28	
	現代キャリアデザイン論I	1①②・③④			2		○									3	
	放射線の自然科学、社会学、人文学	1①②・③④			2		○									2	
	共生社会とアクセシビリティを考える	1①②・③④			2		○									6	
	データサイエンスの基礎 I	1①②・③④			2		○			1						1	
	データサイエンスの基礎 II	1①②・③④			2		○									1	
	数理・データサイエンス・AI活用PBL	1①②・③④			2		○									3	
	情報と社会	1①②・③④			2		○									1	
	データ・AIエンジニアリング基礎	1①②・③④			2		○									1	
	データサイエンスのためのプログラミング入門	1①②・③④			2		○									1	
	カーボンニュートラルと私たちの未来	1①②・③④			2		○									1	
	ダイバーシティ&インクルージョンの世界	1①②・③④			2		○									3	
	阪大SDGs学入門	1①②・③④			2		○									6	
	大阪の防災ー南海トラフ巨大地震・津波からあなたの身の守り方を学ぶ	1①②・③④			2		○									1	
	Chemistry and Society	1①②・③④			2		○									2	
	Biology and Society	1①②・③④			2		○									1	
	実践的プレゼンテーション入門：営業学に学ぶ	1①②・③④			2		○									6	
	SDGs+Beyondに向けた新しい共感・共助の経済づくり	1①②・③④			2		○									5	
	大阪大学での学びをデザインする	1①②・③④			2		○									5	
	証券投資を学ぶ	1①②・③④			2		○									1	
	大阪大学の歴史ー適塾・緒方洪庵入門ー	1①②・③④			2		○			1						20	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員	
		大阪大学の歴史ー 大阪大学を創った 人達ー 万博スタディーズ	1①②・③④		2			○								8	
		小計(59科目)			0	118	0		—	5	2	1	1	0	143		
		育情 科目教	情報科学基礎	1①		2				○	1			3		26	
	ポ ー 健康・ス ー 健康・ス ー 健康・ス ー 健康・ス	スマート・スポー トリテラシー スマート・ヘルス リテラシー	1①②・③④		2						1	3	2			27	
			1①②・③④		2				○		1	4	2	1		8	
			小計(2科目)		0	4	0		—	1	4	2	1	0	29		
	国際性 涵養 教育 系 科 目	第1 外国語 (総合英語)	総合英語 (Liberal Arts & Sciences)	1①②・③④、 2①②		1			○							43	
			総合英語 (Performance Workshop)	1①②・③④、 2①②		1			○							16	
			総合英語 (Content-based English)	1①②・③④、 2①②		1			○							10	
			総合英語 (Project-based English)	1①②・③④、 2①②		1			○							15	
総合英語 (Academic Skills)			1①②・③④、 2①②		1			○							9		
小計(5科目)			0	5	0		—	0	0	0	0	0	0	76			
第1 外国語		実践英語 (e- learning入門)	1③④		1			○							4		
		実践英語 (e- learning応用)	2①③		1			○							4		
小計(2科目)			0	2	0		—	0	0	0	0	0	0	4			
第2 外国語		ドイツ語初級I	1①②		1			○							15		
	ドイツ語初級II	1③④		1			○							18			
	ドイツ語中級	2①②		1			○							16			
	フランス語初級I	1①②		1			○							12			
	フランス語初級II	1③④		1			○							11			
	フランス語中級	2①②		1			○							14			
	ロシア語初級I	1①②		1			○							5			
	ロシア語初級II	1③④		1			○							6			
	ロシア語中級	2①②		1			○							6			
	中国語初級I	1①②		1			○							17			
	中国語初級II	1③④		1			○							18			
	中国語中級	2①②		1			○							12			
	総合日本語	1①②・③④、 2①②		1			○							2			
	専門日本語	1①②・③④、 2①②		1			○							3			
小計(14科目)		0	14	0		—	0	0	0	0	0	0	75				
グ ロー バル 理 解	地域言語文化演習 (ドイツ語)	1①②・③④、 2①②		2			○							21			
	地域言語文化演習 (フランス語)	1①②・③④、 2①②		2			○							3			
	地域言語文化演習 (ロシア語)	1①②・③④、 2①②		2			○							3			
	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	1①②・③④、 2①②		2			○							2			
	国際コミュニケーション演習(フランス語)	1①②・③④、 2①②		2			○							8			
	国際コミュニケーション演習(ロシア語)	1①②・③④、 2①②		2			○							1			
	国際コミュニケーション演習(中国語)	1①②・③④、 2①②		2			○							12			
	多文化コミュニケーション(日本語)	1①②・③④、 2①②		2			○							5			
小計(8科目)		0	16	0		—	0	0	0	0	0	0	54				
専 門 教 育	専 門 基 礎	統計学B-I	1①②		2			○							6		
		統計学B-II	1③④		2			○							3		
		解析学概論	1①②		2			○							4		
		線形代数学概論	1③④		2			○							4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員	
系 科目	教育 科目	物理学 力学入門 力学通論 電磁気学入門 電磁気学通論	1①② 1①② 1③④ 1③④		2			○								2	
					2			○							8		
					2			○							2		
					2			○							7		
	化学 生物 実験	化学基礎論A 化学熱力学 生物学序論 基礎生物学実験 基礎物理学実験 基礎化学実験	1①② 1①② 1①② 1①② 1①② 1①②		2			○								27	
					2			○						3			
					2			○		1					8		
実験	基礎物理学実験 基礎化学実験	1①② 1①②		1											1		
					1									34			
	小計(14科目)			11	14	0				1	0	0	0	0	151		
合計(230科目)										16	11	6	36	0	1461		
学位又は称号		学士(医学)		学位又は学科の分野			医学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
<p>教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目について、計33単位以上修得しなければならない。なお、3年次配当の高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く授業科目を履修し、計31単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。医学科編入学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位の修得を要さない。ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」は修得しなければならない。</p> <p>専門基礎教育科目について、計18単位以上修得しなければならない。全ての授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。医学科編入学生は、全ての授業科目の単位の修得を要さない。</p> <p>専門教育科目について、基礎医学系科目76単位、臨床医学系科目46単位、臨床実習科目44単位及び専門英語科目2単位の合わせて168単位以上を修得し、かつ、Post-CC OSCE (Post-Clinical Clerkship OSCE、卒業前の客観的臨床能力試験)に合格しなければならない。ただし、医学科編入学生は、「医学序説」、「生物科学概論」、「基礎医学体験実習」及び「早期臨床体験実習1」の単位の修得を要さない。</p> <p>進級要件、卒業要件単位等                      1. 2年次の学生は、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の単位(ただし、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」を除く。)、専門基礎教育科目の単位並びに基礎医学系科目(必修科目に限る。)及び臨床実習科目のうち1・2年次配当科目の単位並びに「医学英語1」の単位を全て修得しなければ、3年次へ進級することができない。                      2. 3年次の学生は、高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」及び基礎医学系科目(必修科目に限る。)のうち3年次配当科目の単位を全て修得しなければ、臨床医学系科目を履修することができず、4年次へ進級することができない。                      3. 4年次の学生は、「環境医学・公衆衛生学実習」、「臨床講義1・2」、「臨床導入実習」及び「医学英語2」の単位を修得し、かつ、進級する直前に受けた2つの共用試験(CBT(Computer-Based Testing)及びOSCE(Objective Structured Clinical Examination))に合格しなければ、臨床実習科目を履修することができず、5年次へ進級することができない(CBT及びOSCEの成績は次年度に持ち越すことはできない。)                      4. 5年次の学生は、「臨床実習1」、「臨床実習2」及び「研究室配属」の単位を全て修得しなければ、6年次へ進級することができない。                      5. 1から4までにより留年した者が再履修すべき授業科目は、不合格科目のみとする。                      6. 卒業の認定を得るには、教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目から33単位以上、専門基礎教育科目から18単位以上、専門教育科目から168単位以上、計219単位以上を修得し、かつPost-CC OSCEに合格しなければならない。</p>							1 学年の学期区分							4期			
							1 学期の授業期間							8週			
							1 時限の授業時間							全学共通教育科目90分 専門教育系科目50~90分 (科目により異なる)			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
  - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
  - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
  - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

国立大学法人大阪大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>大阪大学</b>				
<b>文学部</b>				
人文学科	165	-	660	
人間科学部		3年次		
人間科学科	137	10	568	
外国語学部		3年次		
外国語学科	580	10	2,340	
法学部		3年次		
法学科	170	10	700	
国際公共政策学科	80	-	320	
経済学部		3年次		
経済・経営学科	220	10	900	
理学部				
数学科	47	-	188	
物理学科	76	-	304	
化学科	77	-	308	
生物科学科	55	-	220	
医学部		2年次		
医学科(6年制)	98	10	623	
保健学科				
看護学専攻	80	-	320	
放射線技術科学専攻	40	-	160	
検査技術科学専攻	40	-	160	
歯学部				
歯学科(6年制)	53	-	318	
薬学部				
薬学科(6年制)	80	-	480	
工学部		3年次		
応用自然科学科	222	3	894	
応用理工学科	248	3	998	
電子情報工学科	190	6	772	
環境・エネルギー工学科	75	-	300	
地球総合工学科	118	-	472	
基礎工学部		3年次		
電子物理科学科	103	-	412	
化学応用科学科	84	-	336	
システム科学科	174	8	712	
情報科学科	101	-	404	
計	3,313	2年次 10 3年次 60	13,869	
<b>大阪大学大学院</b>				
<b>人文学研究科</b>				
人文学専攻(M)	47	-	94	
人文学専攻(D)	14	-	42	
言語文化学専攻(M)	32	-	64	
言語文化学専攻(D)	15	-	45	
外国学専攻(M)	25	-	50	
外国学専攻(D)	11	-	33	
日本学専攻(M)	40	-	80	
日本学専攻(D)	18	-	54	
芸術学専攻(M)	17	-	34	
芸術学専攻(D)	7	-	21	
人間科学研究科				
人間科学専攻(M)	89	-	178	
人間科学専攻(D)	42	-	126	
法学研究科				
法学・政治学専攻(M)	35	-	70	
法学・政治学専攻(D)	12	-	36	
経済学研究科				
経済学専攻(M)	55	-	110	
経済学専攻(D)	20	-	60	
経営学系専攻(M)	28	-	56	
経営学系専攻(D)	5	-	15	
理学研究科				
数学専攻(M)	32	-	64	
数学専攻(D)	16	-	48	
物理学専攻(M)	68	-	136	
物理学専攻(D)	33	-	99	
化学専攻(M)	60	-	120	
化学専攻(D)	30	-	90	
生物科学専攻(M)	54	-	108	
生物科学専攻(D)	23	-	69	
高分子科学専攻(M)	24	-	48	
高分子科学専攻(D)	11	-	33	
宇宙地球科学専攻(M)	28	-	56	
宇宙地球科学専攻(D)	13	-	39	
医学系研究科				
医学専攻(4年制D)	172	-	688	
医科学専攻(M)	20	-	40	
保健学専攻(M)	81	-	162	
保健学専攻(D)	23	-	69	
歯学研究科				
口腔科学専攻(4年制D)	40	-	160	
薬学研究科				
創成薬学専攻(M)	15	-	30	
創成薬学専攻(D)	8	-	24	
医療薬学専攻(4年制D)	19	-	76	
工学研究科				
生物工学専攻(M)	63	-	126	
生物工学専攻(D)	12	-	36	
応用化学専攻(M)	97	-	194	
応用化学専攻(D)	26	-	78	
物理学系専攻(M)	72	-	144	
物理学系専攻(D)	19	-	57	
機械工学専攻(M)	96	-	192	
機械工学専攻(D)	23	-	69	
マテリアル生産科学専攻(M)	118	-	236	
マテリアル生産科学専攻(D)	31	-	93	
電気電子情報通信工学専攻(M)	141	-	282	
電気電子情報通信工学専攻(D)	30	-	90	
環境エネルギー工学専攻(M)	82	-	164	
環境エネルギー工学専攻(D)	16	-	48	
地球総合工学専攻(M)	104	-	208	
地球総合工学専攻(D)	23	-	69	
ビジネスエンジニアリング専攻(M)	38	-	76	
ビジネスエンジニアリング専攻(D)	4	-	12	
基礎工学研究科				
物質創成専攻(M)	113	-	226	
物質創成専攻(D)	31	-	93	
機能創成専攻(M)	59	-	118	
機能創成専攻(D)	15	-	45	
システム創成専攻(M)	95	-	190	
システム創成専攻(D)	24	-	72	

令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>大阪大学</b>				
<b>文学部</b>				
人文学科	165	-	660	
人間科学部		3年次		
人間科学科	137	10	568	
外国語学部		3年次		
外国語学科	580	10	2,340	
法学部		3年次		
法学科	170	10	700	
国際公共政策学科	80	-	320	
経済学部		3年次		
経済・経営学科	220	10	900	
理学部				
数学科	47	-	188	
物理学科	76	-	304	
化学科	77	-	308	
生物科学科	55	-	220	
医学部		2年次		
医学科(6年制)	98	10	623	
保健学科				
看護学専攻	80	-	320	
放射線技術科学専攻	40	-	160	
検査技術科学専攻	40	-	160	
歯学部				
歯学科(6年制)	53	-	318	
薬学部				
薬学科(6年制)	80	-	480	
工学部		3年次		
応用自然科学科	222	3	894	
応用理工学科	248	3	998	
電子情報工学科	190	6	772	
環境・エネルギー工学科	75	-	300	
地球総合工学科	118	-	472	
基礎工学部		3年次		
電子物理科学科	103	-	412	
化学応用科学科	84	-	336	
システム科学科	174	8	712	
情報科学科	101	-	404	
計	3,313	2年次 10 3年次 60	13,869	
<b>大阪大学大学院</b>				
<b>人文学研究科</b>				
人文学専攻(M)	47	-	94	
人文学専攻(D)	14	-	42	
言語文化学専攻(M)	32	-	64	
言語文化学専攻(D)	15	-	45	
外国学専攻(M)	25	-	50	
外国学専攻(D)	11	-	33	
日本学専攻(M)	40	-	80	
日本学専攻(D)	18	-	54	
芸術学専攻(M)	17	-	34	
芸術学専攻(D)	7	-	21	
人間科学研究科				
人間科学専攻(M)	89	-	178	
人間科学専攻(D)	42	-	126	
法学研究科				
法学・政治学専攻(M)	35	-	70	
法学・政治学専攻(D)	12	-	36	
経済学研究科				
経済学専攻(M)	55	-	110	
経済学専攻(D)	20	-	60	
経営学系専攻(M)	28	-	56	
経営学系専攻(D)	5	-	15	
理学研究科				
数学専攻(M)	32	-	64	
数学専攻(D)	16	-	48	
物理学専攻(M)	68	-	136	
物理学専攻(D)	33	-	99	
化学専攻(M)	60	-	120	
化学専攻(D)	30	-	90	
生物科学専攻(M)	54	-	108	
生物科学専攻(D)	23	-	69	
高分子科学専攻(M)	24	-	48	
高分子科学専攻(D)	11	-	33	
宇宙地球科学専攻(M)	28	-	56	
宇宙地球科学専攻(D)	13	-	39	
医学系研究科				
医学専攻(4年制D)	172	-	688	
医科学専攻(M)	20	-	40	
保健学専攻(M)	101	-	202	入学定員変更(20)
保健学専攻(D)	26	-	78	入学定員変更(3)
歯学研究科				
口腔科学専攻(4年制D)	40	-	160	
薬学研究科				
創成薬学専攻(M)	15	-	30	
創成薬学専攻(D)	8	-	24	
医療薬学専攻(4年制D)	19	-	76	
工学研究科				
生物工学専攻(M)	63	-	126	
生物工学専攻(D)	12	-	36	
応用化学専攻(M)	97	-	194	
応用化学専攻(D)	26	-	78	
物理学系専攻(M)	72	-	144	
物理学系専攻(D)	19	-	57	
機械工学専攻(M)	96	-	192	
機械工学専攻(D)	23	-	69	
マテリアル生産科学専攻(M)	118	-	236	
マテリアル生産科学専攻(D)	31	-	93	
電気電子情報通信工学専攻(M)	141	-	282	
電気電子情報通信工学専攻(D)	30	-	90	
環境エネルギー工学専攻(M)	82	-	164	
環境エネルギー工学専攻(D)	16	-	48	
地球総合工学専攻(M)	104	-	208	
地球総合工学専攻(D)	23	-	69	
ビジネスエンジニアリング専攻(M)	38	-	76	
ビジネスエンジニアリング専攻(D)	4	-	12	
基礎工学研究科				
物質創成専攻(M)	113	-	226	
物質創成専攻(D)	31	-	93	
機能創成専攻(M)	59	-	118	
機能創成専攻(D)	15	-	45	
システム創成専攻(M)	95	-	190	
システム創成専攻(D)	24	-	72	

国際公共政策研究科			
国際公共政策専攻 (M)	19	-	38
国際公共政策専攻 (D)	11	-	33
比較公共政策専攻 (M)	16	-	32
比較公共政策専攻 (D)	10	-	30
情報科学研究科			
情報基礎数学専攻 (M)	12	-	24
情報基礎数学専攻 (D)	5	-	15
情報数理学専攻 (M)	20	-	40
情報数理学専攻 (D)	5	-	15
コンピュータサイエンス専攻 (M)	26	-	52
コンピュータサイエンス専攻 (D)	6	-	18
情報システム工学専攻 (M)	26	-	52
情報システム工学専攻 (D)	7	-	21
情報ネットワーク工学専攻 (M)	26	-	52
情報ネットワーク工学専攻 (D)	7	-	21
マルチメディア工学専攻 (M)	26	-	52
マルチメディア工学専攻 (D)	7	-	21
バイ情報工学専攻 (M)	24	-	48
バイ情報工学専攻 (D)	6	-	18
生命機能研究科			
生命機能専攻 (5年一貫D)	55	3年次 若干名	275
高等司法研究科			
法務専攻 (P)	80	-	240
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学専攻研究科			
小児発達学専攻 (M)	15	-	30
小児発達学専攻 (D)	15	-	45
計	3,038	3年次 若干名	7,417

国際公共政策研究科			
国際公共政策専攻 (M)	19	-	38
国際公共政策専攻 (D)	11	-	33
比較公共政策専攻 (M)	16	-	32
比較公共政策専攻 (D)	10	-	30
情報科学研究科			
情報基礎数学専攻 (M)	12	-	24
情報基礎数学専攻 (D)	5	-	15
情報数理学専攻 (M)	20	-	40
情報数理学専攻 (D)	5	-	15
コンピュータサイエンス専攻 (M)	26	-	52
コンピュータサイエンス専攻 (D)	6	-	18
情報システム工学専攻 (M)	26	-	52
情報システム工学専攻 (D)	7	-	21
情報ネットワーク工学専攻 (M)	26	-	52
情報ネットワーク工学専攻 (D)	7	-	21
マルチメディア工学専攻 (M)	26	-	52
マルチメディア工学専攻 (D)	7	-	21
バイ情報工学専攻 (M)	24	-	48
バイ情報工学専攻 (D)	6	-	18
生命機能研究科			
生命機能専攻 (5年一貫D)	55	3年次 若干名	275
高等司法研究科			
法務専攻 (P)	80	-	240
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学専攻研究科			
小児発達学専攻 (M)	15	-	30
小児発達学専攻 (D)	15	-	45
計	3,061	3年次 若干名	7,466